

五日市町

五日市町長 山崎 良一
五日市町副長 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一

五日市町長 山崎 良一
五日市町副長 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一
五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

五日市町議 山崎 良一

檜原村

檜原村四八九 檜原
村役場内
電檜原三

書記 岡美恵

委員長(無) 峰岸子之吉
檜原村三七八二

委員(無) 清水巳癸三
檜原村一一九一

委員(無) 野村 順
檜原村七二七

委員(無) 森田久美
檜原村二七六八

補充員(無) 野口貢造
檜原村一四一

補充員(無) 清水保壽
檜原村一三二二

補充員(無) 岡部市太郎
檜原村一七七六

補充員(無) 濱中治一
檜原村三三三八

書記長 清水保壽
檜原村一三二二

書記 峰岸省一
檜原村一三二二

書記 高取良作
檜原村一三二二

書記 大谷敏夫
檜原村一三二二

書記 師岡徳夫
檜原村一三二二

檜原村

霞村

五〇

西多摩郡霞村大門
二八八
電青梅五三

委員長(無) 吉澤 賢 吾
霞村師岡九

委員(無) 榎戸 利 助
霞村新町三四七

(無) 川 鍋 宗 三
霞村大門五五二

(無) 篠 田 與 八
霞村藤橋七五

補充員(無) 指 田 福 藏
霞村根ヶ布六二
四

(無) 田 中 繁 三
霞村木野下四四
七

(無) 遠 藤 庫 三
霞村藤橋一〇八

(無) 中里直太郎
霞村今井二〇二

書記 長 大 野 喜 重
霞村吹上二三八

書記 西 村 竹 吉

小曾木村

書記 長 宿 谷 創
小曾木村南小曾
木二二五八

書記 淺 見 政 男

委員長(無) 宿 谷 源 之 助
小曾木村南小曾
二七八七
電小曾木三三

委員(無) 吉 崎 芳 重
小曾大村黒澤一
七〇六
電小曾木元

(無) 川 鍋 爲 吉
小曾木村富岡一
〇〇一

(無) 島 田 良 二
小曾木村南小曾
木三一六二

補充員(無) 青 木 利 助
小曾木村南小曾
木三四〇六

(無) 柳 内 平 治
小曾木村黒澤九
一一

(無) 高 野 春 造
小曾木村南小曾
木一八五八

(無) 横 手 裕 嗣
小曾木村富岡一
五二

小曾木村

五一

霞村

西多摩郡霞村大門
二八八
電青梅五

委員長(無) 吉澤賢吾

霞村師岡九

委員(無) 榎戸利助

霞村新町三四七

(無) 川鍋宗三

霞村大門五五二

(無) 篠田與八

霞村藤橋七五

補充員(無) 指田福藏

霞村根ヶ布六二

(無) 田中繁三

霞村木野下四四七

(無) 遠藤庫三

霞村藤橋一〇八

(無) 中里直太郎

霞村今井二〇二

書記長 大野喜重

霞村吹上三三八

書記 西村竹吉

小曾木村

小曾木村南小曾木
二七八七
電小曾木三

委員長(無) 宿谷源之助

小曾木村南小曾
木二八四一
電小曾木三

委員(無) 吉崎芳重

小曾木村黒澤一
七〇六
電小曾木元

(無) 川鍋爲吉

小曾木村富岡一
〇〇一

(無) 島田良二

小曾木村南小曾
木三一六二

補充員(無) 青木利助

小曾木村南小曾
木三四〇六

(無) 柳内平治

小曾木村黒澤九
一一

(無) 高野春造

小曾木村南小曾
木一八五八

(無) 横手裕嗣

小曾木村富岡一
五二

小曾木村

書記長 宿谷 創
小曾木村南小曾
木二二五八
書記 淺見政男

成木村

西多摩郡成木村上
成木下分六三八
電成木^四

書記 長木崎正七
成木村上成木下
分四五四
書記 武藤昌子

委員長(無) 清水六郎

成木村上成木下
分九二三
電成木^四

委員(無) 野崎半三
成木村北小曾木
三四六

(無) 小澤淺次郎
成木村上成木上
分一〇一

(無) 中村勝四郎
成木村下成木下
分三五

補充員(無) 高山源八
成木村下成木上
分三七四

(無) 白井百太郎
成木村北小曾木
九九五

(無) 加藤喜一
成木村上成木上
分一五五六

(無) 西村隆一
成木村上成木下
分一七一六

青梅町

西多摩郡青梅町青
梅二八〇青梅町役
場内
電青梅^四・三三

書記 長早川朝七
青梅町青梅五六
二
書記 原島兼吉
大島憲太郎
伊藤友幸

委員長(無) 久保田松治
青梅町西分一一
九

委員(無) 野崎吉兵衛
青梅町青梅三三
電青梅^三・六

(無) 海藤恒次郎
青梅町青梅九〇
電青梅^三・八

(無) 並木清作
青梅町青梅九四
七

補充員(無) 木口延太郎
青梅町青梅三一
五

(無) 榎戸吉二
青梅町青梅一三
〇〇

(無) 野村壽朗
青梅町勝沼六五

(無) 内田勝藏
青梅町青梅七九
〇

電青梅^三・八

青梅町

調布村

書

記岩浪 五四
池田米藏

調布村

西多摩郡調布村下
長淵四二六イ號
電青梅一四九

委員長(無) 田中淺二郎

調布村上長淵五
九一

委員(無) 村田音吉

調布村駒木野三
六九

(無) 島田純

調布村河邊一〇
五五

(無) 青木正作

調布村千ヶ瀬八
五七

補充員(無) 田中靖也

調布村上長淵一
一五

(無) 玉川治良

調布村下長淵四
七五

(無) 宇津木儀兵衛

調布村友田六〇

(無) 加藤貞七

調布村千ヶ瀬七

書記長 高野吉雄

調布村千ヶ瀬一
一九

吉野村

書

書記長 和田一男
吉野村日影和田
二二八
書記 藤野勇
森田安治
和田志津子

委員長(無) 鈴木寛

吉野村下二二三
七

委員(無) 和田一男

吉野村日影和田
二二八

(無) 久保久

吉野村日影和田
三六一

(無) 土方精一

吉野村畑中五八
九

補充員(無) 榊田茂雄

吉野村下一一四
九

(無) 金子融英

吉野村柚木四

(無) 武井喜助

吉野村下八一七

(無) 福島又次郎

吉野村畑中七九
二

吉野村

電吉野八

五五

三田村

書記長 清水利 五六
 西多摩郡三田村
 井下分七二〇三
 田村役場内
 電澤井四

委員長(無) 原島武夫

三田村澤井下分 七九二

委員(無) 高野安太郎

三田村澤井下分 四九六

(無) 吉野泰苗

三田村二俣尾八 三三

(無) 竹田角次郎

三田村御嶽八九

補充員(無) 福富君治

三田村二俣尾八 〇二

(無) 原島政子

三田村二俣尾一 七七八

(無) 齋藤眞二

三田村御嶽四八

電三

(無) 齋藤金藏

三田村澤井上分 一七六

電美

五六

書記長 清水利

三田村御嶽一六

四 柳光子

書記片 柳光子

古里村

西多摩郡古里村小
丹波一〇八
電古里四

書記長 石田正義
古里村小丹波五
一九

委員長(無) 杉村愛弘

古里村川井一六 四

委員(無) 原島彌三郎

古里村丹三郎一 七八

委員(無) 小林浪太郎

古里村小丹波二 五七

(無) 原島陽一

古里村柵澤三八 七

補充員(無) 原島鑑

古里村小丹波四 九二

(無) 大澤正春

古里村白丸三三 六

(無) 加藤和一郎

古里村大丹波一 七四

(無) 原島愛之助

古里村川井五一 七

古里村

五七

三田村

書記長 清水利 五六
西多摩郡三田村
井下分七二〇(三)
田村役場内
電澤井四

委員長(無) 原島武夫

三田村澤井下分 七九二

委員(無) 高野安太郎

三田村澤井下分 四九六

委員(無) 吉野泰苗

三田村二俣尾八 三二

委員(無) 竹田角次郎

三田村御嶽八九

補充員(無) 福富君治

三田村二俣尾八 〇二

委員(無) 原島政子

三田村二俣尾一 七七八

委員(無) 齋藤眞二

三田村御嶽四八 〇三

委員(無) 齋藤金藏

三田村澤井上分 一七六

電天

古里村

書記長 石田正義
古里村小丹波五 一九
書 記 杉山綾子

委員長(無) 杉村愛弘

古里村川井一六 四

委員(無) 原島彌三郎

古里村丹三郎一 七八

委員(無) 小林浪太郎

古里村小丹波二 五七

委員(無) 原島陽一

古里村柵澤三八 七

補充員(無) 原島鏡

古里村小丹波四 九二

委員(無) 大澤正春

古里村白丸三二 六

委員(無) 加藤和一郎

古里村大丹波一 七四

委員(無) 原島愛之助

古里村川井五一 七

古里村

氷川町

書記 大野タツ

委員長(無) 西多摩郡氷川一九
電氷川三・五

委員(無) 原島新七
氷川町氷川一四
電氷川八

委員(無) 大館勇吉
氷川町境一三三
電氷川二

(無) 原島芳雄
氷川町日原八九

(無) 清水功
氷川町海澤五七

補充員(無) 小峰良雄
氷川町氷川三〇

(無) 奥平莊平
氷川町境五四八

(無) 田草川貢
氷川町氷川一四
二七

(無) 村木又三
氷川町氷川一四
一五

書記 長田中行雄
氷川町氷町一八
一四

小河内村

書記 長岡部儀佐
小河内村河内七
六

委員長(無) 原島康洲
小河内村原五六
九

委員(無) 金丸儀
小河内村河内二
六三

(無) 杉田正一
小河内村川野二
九三

(無) 川村理三郎
小河内村留浦一
九四六

補充員(無) 松島好一
小河内村原五〇
九

(無) 大久保行雄
小河内村川野一
七四四

(無) 河村紀治
小河内村川野一
一一

(無) 矢崎熊次郎
小河内村留浦五
六三

小河内村

五九

南多摩地方事務所

◎南多摩郡

南多摩地方事務所

八王子市明神町六
三〇
電八王子 七・五七五・
五八八

所 長 小池 和七
 總務課長 伊森 賢一
 行政係長 矢澤 晋三
 井上 五助

六〇

横山村

南多摩郡横山村散
田四二〇
電八王子 七

委員長(無) 藤本 爲良
 横山村散田四九
一
電八王子 二〇六

委員(無) 串田 健之助
 横山村寺田一二
九三

(無) 田中 龜次郎
 横山村館一七二
六

(無) 岸 平市
 横山村下長房一
五一八

補充員(無) 堀田 快本
 横山村散田四四

(無) 鈴木 正平
 横山村下棚田一
八六五

(無) 林 善一
 横山村大船二六
七

(無) 志村 鎮雄
 横山村下長房三
二七

横山村

書記 長 小山 新次
 八王子市蘆町一
ノ一八

書 記 山崎 萬吉
 常盤 好子

六一

淺川町

六二

淺川町

南多摩郡淺川町上
棚田一九五七淺川
町役場内
電淺川三・七

委員長(無) 高橋 榮治

淺川町上棚田二
二〇九
電淺川三

委員(無) 長谷川 正忠

淺川町上棚田七

(無) 大用 彌八

淺川町上棚田一
六五六

(無) 峰尾 丑太郎

淺川町上長房八

補充員(無) 瀧子 之七

淺川町上棚田二
四七〇

(無) 福田 喜八

淺川町上棚田一
〇七九

(無) 山下 紋次

淺川町上棚田一
五九五

書記長 澤行 雄

元八王子村

書記長 村田 利久

南多摩郡元八王子
村大樂寺四一九

元八王子村下壹
分方八二五

電八王子

書記 岩本 正次

委員長(無) 武藤 勘次郎

元八王子村横川
八九五

宮崎 元一
相澤 富太郎

委員(無) 山上 貞三

元八王子村下一
分方六八八

(無) 内田 幸一

元八王子村大樂
寺一二〇

(無) 内田 與三松

元八王子村貳分
方四

補充員(無) 上條 林之助

元八王子村下壹
分方五一

(無) 虎見 平十

元八王子村元八
王子四〇五

(無) 稻村 喜作

元八王子村元八
王子一九四八

(無) 小山 新作

元八王子村川村
二三四

元八王子村

元八王子村

六三

恩方村

六四

南多摩郡恩方村下
恩方三三九五恩方
村役場内
電恩方二

委員長(無) 山田重兵衛
恩方村下恩方三
〇九三

委員(無) 橋本昌一
恩方村上恩方八
九九

(無) 原盛一
恩方村小津八六
六

(無) 松崎勝義
恩方村上恩方四
六四三

補充員(無) 内藤利兵衛
恩方村西寺方六
八二

(無) 青木喜三郎
恩方村小津三一
二

書記長 松崎勝義
恩方村上恩方四
六四三

川口村

書記長 町田松吉
川口村上川口二
三三三

書記 潮沼治吉

南多摩郡川口村
電八王子全

委員長(無) 潮沼愛之助
川口村山入一三
六八

委員(無) 高橋文吉
川口村上川口一
〇三〇
電下川口三

(無) 田中勝藏
川口村下川口二
一六九

(無) 秋山駒吉
川口村大目五三
〇

補充員(無) 小野十九七
川口村大目一

(無) 町田廣好
川口村下川口二
七六四

(無) 奥住兼吉
川口村上川口二
九八二

(無) 井出金一
川口村橋原九五
九

六五

加住村

六六

加住村

南多摩郡加住村留
折二〇八
電八王子二八六

委員長(無) 荒井伊之助
加住村宮下二六
四

委員(無) 細井政儀
加住村左入一〇

(無) 宮城保太郎
加住村谷野六四
六

(無) 澤井辰五郎
加住村高月一一
二四

補充員(無) 數馬福太郎
加住村八日市五
一

(無) 村內萬助
加住村留所二七
六

(無) 高野茂一
加住村戸吹三四
二

(無) 澤井善七
加住村高月一一
七六

書記 小池 勇

關根 彌 七

日野町

書

記 栗山鶴松
成井節子

委員長(無) 土方賢一
日野町大字日野
六二五

委員(無) 大貫作藏
日野町大字豊田
二五七

(民自) 立川正次
日野町大字日野
四九〇六

(無) 土方新九郎
日野町大字新井
一一〇

補充員(無) 黒川耀雅
日野町大字川邊
堀之内五九五

(無) 小島安藏
日野町大字日野
二五三四

(無) 平林正治
日野町大字日野
一〇八五

(無) 江崎時義
日野町大字日野
六八〇一

書記 長杉浦俊裕

日野町

六七

七生村

六八

七生村

南多摩郡七生村南
平一四一二
雷日野三

委員長(無) 朝倉 誠 二二

七生村落川三三三

委員(無) 杉山 又吉

七生村平山九〇

(無) 豊住 順藏

七生村高幡六九

(無) 青木源三郎

七生村百草三七

補充員(無) 寺澤利右衛門

七生村南平七〇

(無) 須崎 洲藏

七生村程久保七

(無) 伊藤由太郎

七生村三澤一〇

書記 長中 村直男

七生村落川六四

書記 杉本好次郎

由木村

書記 長堀川 春雄

由木村下柚木二

役場内

電由木四

書記 伊藤 正直

委員長(無) 内田 李左衛門

由木村下柚木一

委員(無) 加藤 見法

木村大塚三七八

(無) 加藤清太郎

由木村鑼水二〇

(無) 伊藤 喜作

由木村上柚木一

補充員(無) 小田 萬治

由木村松木一四

(無) 谷合積太郎

由木村堀之内二

(無) 久保 豊明

由木村越野六八

(無) 田中 高一

由木村南大澤二

由木村

六九

多摩村

七〇

南多摩郡多摩村員
取一七二四
電多摩三

委員長(無) 富澤清齊
連光寺一〇

委員(無) 飯島五郎
和田一四三三

(無) 小山邦夫
關戸八三七

(無) 横倉愛
落合二一八六

補充員(無) 田村春司
連光寺二八一〇

(無) 下野峰雄
貝取一三二八

(無) 日吉泰仙
東寺方七五〇

(無) 津守照範
乞田三〇三

書記長 長谷川惣一郎
乞田三六九

書記 持田ツル
鹽澤貞

稻城

村

書記長 田中清

南多摩郡稻城村東

長沼一九一六

電四

委員長(無) 五島茂永

稻城村矢野口六

一六

委員(無) 添田孝岳

稻城村矢野口二

四一

(無) 千木良文隆

稻城村東長治二

一〇

(無) 市村健三郎

稻城村坂濱三〇

七八

補充員(無) 白川禪教

稻城村矢野口二

四五

(無) 芦川馨

稻城村大丸九三

八

(無) 馬場芳輔

稻城村平尾一〇

八四

(無) 金井勇太郎

稻城村押立一〇

七九

稻城村

七一

書記

榎本益治

書記

小泉和雄

書記

高橋幸子

稻城村東長沼一

六〇九

鶴川村

七二

鶴川村

南多摩郡鶴川村大藏一八八〇
電鶴川四

書記長 増田 武一
鶴川村小野路四四九七
書記 吉川 タイ子

委員長(無) 井 波 周助
鶴川村野津田七八五

委員(無) 高橋 與三郎
鶴川村金井二五一五

(無) 榎本 久三
鶴川村眞光寺三二七

(無) 荻野清次郎
鶴川村三輪二〇六一

補充員(無) 志村 教 円
鶴川村能ヶ谷七三九

(無) 廣 瀬 來助
鶴川村小野路三二四八

(無) 須 崎 才 助
鶴川村大藏一七七〇

(無) 佐 藤 民 藏
鶴川村廣袴六五八

南 村

南村金森一七〇〇
電町田二五

委員長(無) 山 下 政 一
南村小川二四六

委員(無) 木 目 田 重 作
南村成瀬九六二

(無) 矢 口 千 代 治
南村高ヶ坂五三二

(無) 加 藤 伊 平
南村金森四四〇

補充員(無) 鈴 木 紋 太 郎
南村鶴間一二〇七

(無) 細 野 喜 一
南村鶴間二五三

(無) 佐 藤 勝 三 郎
南村金森一二五九

(無) 廣 瀬 惣 次 郎
南村成瀬四四四

書記 中 村 清

南 村

七三

町田町

七四

書記 長河原 亘

南多摩郡町田町原
町田一四一
電町田三〇〇

町田町原町田三〇五

委員長(無) 夏目利平

書記 松並木幸雄

町田町原町田一
二〇九
電町田六

澁谷林藏

委員(無) 江崎規矩

中川千鶴子

町田町森野一二
六三

江成美惠子

(無) 山中嘉久男

町田町原町田一
二〇一

(無) 田中貫成

町田町本町田三
六五四

補充員(無) 武藤經三

町田町原町田四
九六

(民自) 廣田光次

町田町南大谷二
一三

(無) 黒木新一郎

町田町玉川學園
四〇四五

(無) 澁谷重郎

町田町原町田一
二二七

忠生村

書記 長河合權之助

委員長(無) 天野清藏

忠生村國師二三
六三

書記 鬼頭峻雲

委員(無) 笠原光太郎

忠生村木曾六八
六

(無) 守屋三右衛門

忠生村根岸二九
八

(無) 小川辨四郎

忠生村下小山田
一五〇

補充員(無) 高梨秀雄

忠生村山崎一五
二五

(無) 三澤忠高

忠生村木曾二二
〇八

(無) 井上重太郎

忠生村木曾二六
七〇

(無) 藤野朴材

忠生村上小山田
一五〇四

忠生村

七五

堺村

書記 中島軍治

委員長(無) 西山幸三
南多摩郡堺村相原
六八六
電橋本登

委員(無) 小川一宗
堺村相原四四九

委員(無) 牛久保利一郎
堺村相原七四六

委員(無) 中嶋仁助
堺村相原一六六

補充員(無) 嶋崎仁三郎
堺村小山三七二

(無) 吉澤 猶右衛門
堺村相原四七二

(無) 桂 弘真
堺村小山二五二

(無) 井上 喜好
堺村小山二四八

書記 長石 井君男
堺村相原一七六

七六

由井村

委員長(無) 今治 虎關
南多摩郡由井村戸
倉三三六
電八王子元

委員(無) 塚本 十郎
由井村戸倉八六

(無) 藤 信正三
由井村宇津貫六

(無) 小山 紀道
由井村北野六〇

補充員(無) 中西 新太郎
由井村小比企二
七一九

(無) 大久保 平治
由井村小比企一
三五九

(無) 山本 則次
由井村打越一三
七五

(無) 高橋 宏藏
由井村打越六四
九ノ一

書記 安齊 添一
電八王子三五

由井村 杉本 フジ

七七

北多摩地方事務所

◎北多摩郡

北多摩郡府中町九
 二六四
 電府中四・二〇二・三四六

所長 中野 廣
 總務課長 山本 光輝
 庶務係長 篠崎 竹治
 行政係長 石田 和夫
 藤岡 敏治

谷保村

北多摩郡谷保村谷
 保七二七三
 電國立五

書記長 平野 平作
 谷保村青柳二四
 書記 北島 正市

委員長(無) 佐伯 貴一

谷保村谷保六二六一

委員(無) 佐伯 良助

谷保村谷保六四三三

(無) 澤井 長藏

谷保村青柳四〇八

(無) 前田 芳雄

谷保村國立二二一

補充員(無) 三田 六一

谷保村谷保七〇七九

(無) 本田 定弘

谷保村谷保五一三二

(無) 岩田 鐵市

谷保村谷保九〇九七

(無) 藤原 久吾

谷保村青柳八五三

電國立一六

谷保村

西府村

書記 松村昇一

北多摩郡西府村本宿三六四九
電府中一五

委員長(無) 佐伯類藏
西府村本宿三二七三

委員(無) 北村理吉
西府村本宿三五八四

(無) 高野健吉
西府村中河原一九一

(無) 市川總吉
西府村四ッ谷二〇三

補充員(無) 松村長左衛門
西府村本宿三七〇三

(無) 森田平十郎
西府村本宿五五〇三

(無) 市川寬一
西府村四ッ谷四四九

(無) 鈴木奧次郎
西府村本宿二五九六

書記 長佐伯類藏
西府村本宿三二七二

府中町

北多摩郡府中町
電武藏府中四・六六

委員長(無) 桑田佑榮
府中町五七九五
電武藏府中七

委員(無) 矢部隆治
府中町五五七五

(無) 矢部文一
府中町九一八二

(無) 田中智造
府中町七九〇七

補充員(無) 小澤亮
府中町四一二三

(無) 福島宗平
府中町八〇七四
電武藏府中五

(無) 清水春吉
府中町一三〇二

(無) 大森憲八
府中町九四三二

書記 長小川元成
府中町一〇五一

書記 神谷海僊
吉野和男
鴨下安子
府中町

多磨村

多磨村

北多摩郡多磨村車返一三七〇
電武藏府中二天

委員長(無)和中善吉

多磨村車返一八四八

委員(無)松本孝正

多磨村押立一六三

(無)金井悦

多磨村常久二四三

(無)榎本長作

多磨村是政九五二

補充員(無)門海善吉

多磨村小田分二一七

(無)鷹野勝正

多磨村上保原三二三

(無)河内武

多磨村人見二四七

(無)永井留吉

多磨村是政一九三

八二

書記長田中昇一

多磨村車返三三三

書記上原保夫

大間智

宮澤八重子

調布町

委員長(無)中村享

調布町上石原四九

委員(無)小林常太郎

調布町國領四五

(無)板橋利兵衛

調布町飛田給一六三

(無)芦川和三郎

調布町下石原六三二

補充員(無)荒井常太郎

調布町下布田九七七

(無)築山光吉

調布町上布田三四

(無)土方莊吉

調布町上ノ給五二

書記長峯岸晴吉

調布町飛田給一二五

書記橋本小一郎

調布町

八三

多磨村

北多摩郡多磨村車返一三七〇
雷武藏府中一兵

書記長 田中昇一
三 多磨村車返三三三

委員長(無) 和中善吉

書記 上原保夫
大間智
宮澤八重子

委員(無) 松本孝正

三 多磨村押立一六
四八

(無) 金井悦

三 多磨村常久二四

(無) 榎本長作

二 多磨村是政九五

補充員(無) 門海善吉

一七 多磨村小田分二

(無) 應野勝正

二三 多磨村上保原三

(無) 河内武

七 多磨村人見二四

(無) 永井留吉

九三 多磨村是政一〇

調布町

北多摩郡調布町布田小島分二三〇
雷武藏調布三六

委員長(無) 中村享

九 調布町上石原四
電武藏調布四

委員(無) 小林常太郎

調布町國領四五

(無) 板橋利兵衛

六三 調布町飛田給一

(無) 芦川和三郎

三二 調布町下石原六

補充員(無) 荒井常太郎

九七 調布町下布田九

(無) 築山光吉

四 調布町上布田三
電武藏調布二天

(無) 土方莊吉

二 調布町上ヶ給五

書記長 峯岸晴吉

二五 調布町飛田給一

書記 橋本小一郎

神代村

北多摩郡神代村役場内
電武蔵野調布三

委員長(無) 堀口宜美
神代村深大寺三〇〇五

委員(無) 高松正二
神代村金子二二二七
電動先調布二〇

(無) 矢田部慎一郎
神代村深大寺二二九六

(無) 藤井仲治郎
神代村下仙川八七三

(無) 内野三郎
神代村深大寺九九七

(無) 垣本清雄
神代村柴崎五一五

(無) 濱名徳岩
神代村大町五二五

(無) 倉田吉左衛門
神代村金子一五九〇

書記 長 澁谷 八四

神代村大町四八三

記 島田 進
岩井多喜男

狛江村

北多摩郡狛江村和泉二〇九一
電話三三

委員長(無) 吉岡順助
狛江村和泉二四六六

委員(無) 富永一三
狛江村小足立七七〇

(無) 高橋常藏
狛江村駒井二八四

(無) 石井干城
狛江村和泉二二〇九

補充員(無) 竹内亮光
狛江村和泉一

(無) 久野覺太郎
狛江村岩戸五一

(無) 川合常吉
狛江村覺東三五六

書記 長 石井干城
狛江村和泉二二〇九

記 小板橋八夫
塚原廣平
狛江村

書記

記 飯田總智
小泉道夫

三鷹町

三鷹町

書

記 栗山 八六

三鷹町新川七四〇
雷武城野六四一
委員長(無) 吉野 泰

三鷹町野崎三一〇

井上 昌一
福田 幸一
榛澤 義夫
高橋 静夫

委員(無) 中山 光義

三鷹町北野一

(無) 鴻巣光四郎

三鷹町下連雀二三四

雷武城野三四〇

(無) 三上幸太郎

三鷹町上連雀五〇八

(無) 指田 要輔

三鷹町大澤一一七

(無) 高橋 蒼

三鷹町井口二一三

(無) 高橋 毅

三鷹町牟禮一〇七七

書記長 淺野 昇

三鷹町牟禮四二七

書記 瀧 柳英作

高橋 美好

小金井町

北多摩郡小金井町

小金井一四一七小

小金井町役場内

電小金井三

委員長(無) 星野 治亮

小金井町小金井

一四三九

電小金井三元

委員(無) 小川 源之助

小金井町小金井

一〇八八

電小金井三

(無) 村越 武助

小金井町貫井六

八一

(無) 大久保 喜市

小金井町小金井

二四八〇

補充員(無) 馬場 徳太郎

小金井町小金井

二六〇二

(無) 鈴木 文次郎

小金井町小金井

二二三七

(無) 土屋 三郎平

小金井町梶野新

田四三五

(無) 鈴木 祐三郎

小金井町小金井

一五三一

書記

長畑 野春吉

書記

鈴木 静男

書記

澤井 和子

書記

清水 武一

書記

菅下 加一

書記

木村 光吉

書記

託 佐吉

國分寺町

八八

國分寺町

書記長清水正義

北多摩郡國分寺町大字戀ヶ窪九八二

書記三輪熙庸

委員長(無)中藤俊彌

淺見ツナ

國分寺町大字中藤新田一四七

鈴木惠代子

委員(無)清水爲吉

國分寺町大字本多新田四四七

(無)和地米藏

國分寺町大字野中新田六左衛門組八七一

(無)本多孝三

國分寺町大字國分寺三三〇

補充員(無)小柳辨次郎

國分寺町大字國分寺八五八

(無)坂本善市

國分寺町大字戀ヶ窪六二九

(無)金子敏藏

國分寺町大字國分寺一四六五

(無)小柳常三郎

國分寺町大字國分寺三三五

電國分寺三

砂川村

委員長(無)中島新作

委員(無)石川鯉太郎

(無)淺見守造

(無)荒井瀧次郎

補充員(無)池谷林作

(無)久保田吉房

書記長中野芳夫

書記荒井好正

砂川洋子

北多摩郡砂川村二五四
電砂川村四

砂川村一八二六

砂川村三二九三

砂川村三五

砂川村一三六
電砂川村五

砂川村四〇二

砂川村五九

砂川村二〇

砂川村

八九

昭和町

北多摩郡昭和町中
神電昭和

書記長 村田正雄
昭和町大字田中
二七九
記岡部重治

委員長(無) 岩崎 甲

昭和町大字福島
四九九

委員(無) 櫻井 菊治

昭和町大字中神
一六一

(無) 井上 清七

昭和町大字田中
三三三

(無) 加藤 義雄

昭和町大字福島
八二七

補充員(無) 陰山 清七

昭和町大字雑地
四三四

(無) 山崎 藤助

昭和町大字宮澤
四一五

(無) 石川 鶴松

昭和町大字上川
原八九

(無) 日比 勇

昭和町大字中神
一二五六

拜島村

北多摩郡拜島村一
九六〇
電拜島

委員長(無) 佐藤 吉三郎

拜島村一九五〇

委員(無) 荒井 茂七

拜島村二〇八〇

(無) 小林 幸吉

拜島村二〇四七

(無) 田島 務三

拜島村三九二四

補充員(無) 原島 鹿三郎

拜島村二四六三

(無) 勝野 隆信

拜島村二〇九六
電九

(無) 宮川 定吉

拜島村二〇三三

(無) 秋元 吉次郎

拜島村一九二七

書記長 田中 則光

拜島村一八二二

書記 目黒 辰雄

白井 猛夫

拜島村

村山村

村山村

北多摩郡村山村大字中藤四三〇四
電村山四

書記長 長谷川榮治
村山村大字中藤四二四八
書記 佐々木松男

委員長(無) 比留間 朝之助

村山村大字三ツ木六三〇

委員(無) 渡野 一雄

村山村大字中藤七七八
電村山七

(無) 波多野 萬吉

村山村大字中藤四二二四

(無) 高橋郡 太郎

村山村大字中藤三八九一

補充員(無) 指田 一雄

村山村大字中藤三五七四
電村山六

(無) 増尾 孝輔

村山村大字三ツ木二二〇九

(無) 土方 利夫

村山村大字中藤一〇〇六

(無) 中村 國吉

村山村大字三ツ木一二三九

大和村

書記長 岩品 巖

北多摩郡大和村役場内
電大和四

書記 神谷 朝

委員長(無) 小峰 正存

大和村大字狭山一三五四

委員(無) 押本 清次郎

大和村大字奈良橋六四八

峰岸 虎三

(無) 村岡 四郎

大和村大字奈良橋一三〇〇

野口 一二

(無) 五十嵐 平次郎

大和村大字清水七七二

内堀 小十郎

補充員(無) 小博 則助

大和村大字芋窪二〇七九

宮崎 奥

(無) 鈴木 貫一

大和村大字藏敷四七八

岸 吳鏡

(無) 尾崎 大三

大和村大字高木三九三

(無) 植松 晴喜代

大和村大字奈良橋一二八〇

大和村

九三

東村山町

九四

東村山町

北多摩郡東村山町
野口一三六七
電東村山町

書記長野口好古
東村山町野口二
五三八

委員長(無)清水源三

書記榎本政七

委員(無)間野八五郎

小町喜一郎

(無)増田孫次
東村山町野口一
四二八

遠藤茂作

(無)櫻井富藏
東村山町久米川
九七三

町田金六

補充員(無)小俣正己
東村山町南秋津
一三九〇

西田金六

(無)小島藤利
東村山町野口八
五五

豊

(無)野村忠助
東村山町回田一
五二八

(無)志村孫市
東村山町久米川
一九七三

清瀬村

委員長(無)青木融光
北多摩郡清瀬村中
清戸八四二清瀬村
役場内
電清瀬八

委員(無)澁谷信夫
清瀬村清戸下宿
五二一

(無)津久井正
清瀬村野鹽六八

(無)村野周平
清瀬村上清戸三
四四

補充員(無)村野三郎
清瀬村上清戸六
〇七

(無)關民雄
清瀬村下清戸三
三五

(無)増田元彦
清瀬村中清戸八
七〇

(無)岩崎信吉
清瀬村野鹽一四

書記齋藤正一
清瀬村

久留米村

九六

久留米村

書記 長 小山 千松

北多摩郡久留米村
大字前澤六〇九
電久留米四

久留米村大字小
山一一六九

委員長(無) 山下 彌三郎

書記 町田 吉男
青木 智恵子

久留米村大字前
澤六七

委員(無) 山口 林平

久留米村大字神
山一二六八

(無) 栗原 悦治

久留米村大字南
澤九八四

(無) 貫井 金右衛門

久留米村大字門
前二八九

補充員(無) 野村 保平

久留米村大字前
澤八八四

(無) 林 新藏

久留米村大字落
合二二八
電久留米三

(無) 小山 專太郎

久留米村大字小
山四二〇

(無) 野崎 欣一

久留米村大字柳
窪六〇六

保谷町

書記 渡邊 よし子

委員長(無) 下田 與喜

保谷町下保谷一
五四〇

委員(無) 下田 彌藏

保谷町上保谷
新田三八三

(無) 本橋 徹

保谷町下保谷七
六一

(無) 櫻井 直吉

保谷町上保谷一
一七七

補充員(無) 本橋 定吉

保谷町下保谷二
二四六

(無) 齋藤 四郎三郎

保谷町上保谷一
七六九

(無) 渡邊 明

保谷町上保谷一
〇二四

書記 長 篠宮 安見

保谷町下保谷

書記 齋藤 正

尾崎 英司

保谷町

九七

田無町

田無町

北多摩郡田無町三六九
電田無町

委員長(無) 内田 和市

田無町四二二
電田無町

委員(無) 増田 元吉

田無町三七八
電田無町

(無) 櫻井 竹次郎

田無町二七二

(無) 海老澤 軍平

田無町一九一

補充員(無) 矢ヶ崎 源藏

田無町三八五

(無) 關戸 健三

田無町三〇七五

(無) 新井 淺吉

田無町九三四

(無) 新井 由藏

田無町一〇六五

書記長 新井 正一

田無町二〇三

書記 濱野 文平

中村 茂吉

永井 明雄

九八

記尾林キク

小平町

書

記小野 西山五郎 大谷貫一 竹野外志男

委員長(無) 窪田 小十郎

北多摩郡小平町小川新田五二一
電小平六

委員(無) 竹内 藤三郎

小平町野中新田善左衛門組三五九

(無) 山口 梅吉

小平町小川三〇五

(無) 高杉 金助

小平町野中新田善左衛門組六七三

補充員(無) 島村 彌三郎

小平町鈴木新田九九八

(無) 藤崎 富太郎

小平町小川一七二八

(無) 荒井 八十八

小平町小川一三四三

(無) 荒畑 先吉

小平町鈴木新田一四五

小平町

九九

大島支廳・元 村

◎伊豆七島

大島支廳

支 廳 長 大 貫 英 雄
總 務 課 長 三 木 忠 次
行 政 係 長 片 岡 武 夫

元

村

大島元村二 元村
役場内 元村三・兜

委員長(無) 坪 雄 二

委員(無) 高 田 森 吉

(無) 植 木 豊 三

(無) 金 子 松 治 郎

補充員(無) 阿部 虎之丈

(無) 阿 部 森 之 丈

(無) 藤 井 亮 弘

書記 長 矢 崎 良 房

書記 吉 村 弘

山 田 一 藏

春 木 キ ヨ

雨宮 ふじ子

岡 田 村

委員長(無) 川 島 總 五 郎
岡田村字助田
電岡田四

委員(無) 澤 部 伊 吉
岡田村字小堀五
電岡田三

(無) 吉 岡 銀 造
岡田村字小堀六
電岡田三

(無) 富 岡 市 太 郎
岡田村字小堀一

補充員(無) 宮 口 彦 吉
岡田村字笹郷第
九三

(無) 白 井 寅 太 郎
岡田村字笹郷一

(無) 濱 部 伊 勢 松
岡田村字笹郷一

(無) 濱 部 福 吉
岡田村字助田第
二六

書記 長 白 井 清 八
岡田村字助田九

泉 津 村

委員長(無) 濱 田 正 也
大島泉津村三一
電泉津四

委員(無) 山 本 伸
泉津村乙九
電泉津三

(無) 机 佑 吉
泉津村乙八五

(無) 福 井 潔
泉津村五一

補充員(無) 坂 下 勉
泉津村四二

(無) 酒 井 源 二 郎
泉津村五八

(無) 小 林 巖
泉津村乙七七

(無) 平 井 岩 次
泉津村三七

書記 長 小 林 重 治
泉津村乙二三

書記 山 下 弘 行

高 橋 成

森 口 幹 彦

佐 藤 俊 助

岡 田 村・泉 津 村

一〇一

野増村・差木地村

1011

野増村	大島野増村三 電元村七	委員長(無) 山田作五郎	野増一七	委員(無) 太田安太郎	野増二	(無) 内田宗太郎	野増一六	(無) 山田源一	野増九	補充員(無) 青木熊次郎	野増六	(無) 吉田金太郎	野増一	(無) 會根銀之助	野増七	書記長 東 昌美	野増村一八	書記 肥田純雄	山本富一	佐々木君子
差木地村	大島差木地村一 電差木地四	委員長(無) 濱口平一郎	差木地二	委員(無) 下島普治	クダツチ	(無) 宮越佐一	クダツチ	(無) 中山龜太郎	差木地四	補充員(無) 小松清吉	クダツチ	(無) 藤田辰江	クダツチ	(無) 河野正彦	差木地四	書記長 立島志摩男	クダツチ	書記 寺下富次		

波浮港村

利島村

波浮港村	大島波浮港村六 電波浮四・三	委員長(無) 松木國次郎	波浮港村一七	委員(無) 秋田至誠	波浮港村一二	(無) 秋田榮治	波浮港村一	(無) 松木重太郎	波浮港村一	補充員(無) 秋田条造	波浮港村一四	(無) 秋廣弘	波浮港村六	(無) 川田豊	波浮港村一六	(無) 秋田光夫	波浮港村一	書記 秋廣弘		
利島村	利島村	委員長(無) 寺田太吉	利島村五二	委員(無) 土屋虎松	利島村二五	(無) 藤井修	利島村二二	(無) 梅田次郎	利島村三四	補充員(無) 梅田利正	利島村三一	(無) 前田芳夫	利島村六	(無) 笹岡定五郎	利島村二四	書記 前田巖				

波浮港村・利島村

1011

若郷村・本村

一〇四

若郷村

新島若郷村一
電若郷四

新島本村一
電話本村四

委員長(無) 梅田 泰榮

委員(無) 北村 爲吉

新島若郷村四三

新島若郷村四〇

電若郷五

(無) 前田 長之助

新島若郷村三九

(無) 前田 吉太郎

新島若郷村三

補充員(無) 宇山 武

新島若郷村一

電若郷三

(無) 北村 清太郎

新島若郷村一六

(無) 植松 久郎

新島若郷村二六

電若郷六

(無) 前田 伊助

新島若郷村三〇

書記 北村 考助

本村

委員長(無) 山本馬之助

委員(無) 大沼清次郎

(無) 戸田 寅松

(無) 宮川 市雄

補充員(無) 清水 茂吉

(無) 肥田 徳松

(無) 大沼甚之助

(無) 森田 幸

書記 釜 鮎次郎

宮川 信之助

神津島村

委員長(無) 小川 信之助

委員(無) 藤井 松次郎

(無) 松江 勝吉

(無) 鈴木 徳三郎

補充員(無) 石田 元治郎

(無) 濱川 音吉

(無) 清水 豊吉

(無) 梅田 平二

書記 長 清水 正平

書記 河合 尹三

神津島村

一〇五

三宅支廳・三宅村

一〇六

三宅支廳

三宅島三宅村
電三宅四

支廳長 辻 尙
總務課長 伊勢崎 守信
行政係長 淺沼 努

三宅村

三宅村大字神濱
電三宅九

委員長(無) 島澤島太郎
三宅村大字伊豆
委員(無) 石井勘次郎
三宅村大字伊ヶ谷

(無) 榎本 春吉
三宅村大字神濱
電三宅五

(無) 淺沼 幸雄
三宅村大字神濱

補充員(無) 鈴木 康雄
三宅村大字伊豆

(無) 池田 瀧次郎
三宅村大字伊豆

(無) 山口 恭三
三宅村大字伊ヶ谷

書記長 岩間 壽一
三宅村大字伊豆

書記 成澤 恒尙

阿古村

阿古村
電阿古四

委員長(無) 佐久間 寅五郎
阿古村一四四

委員(無) 長谷川 新三
阿古村三三
電阿古五

(無) 宮下 爲吉
阿古村二二五

(無) 宮下 寛次郎
阿古村一三六

補充員(無) 沖山 長道
阿古村二二〇
電阿古三〇

(無) 沖山 佐市
阿古村七

(無) 沖山 勘之助
阿古村三四

(無) 山上 初三郎
阿古村一九二

書記長 村上 忠治
阿古村五〇

書記 山本 公一
松田 一夫

阿古村・坪田村

坪田村

坪田村
電坪田四

委員長(無) 奥山 龜之助
坪田村六九

委員(無) 筑波 平之助
坪田村八

(無) 小林 繁三
坪田村二三

(無) 加藤 吉之助
坪田村

補充員(無) 松村 仲右衛門
坪田村五

(無) 寺本 親之助
坪田村四七

(無) 池田 銀藏
坪田村

(無) 井澤 百松
坪田村四四ノ二

書記長 渡邊 幸吉
坪田村

書記 志村 正明

一〇七

御藏島村

御藏島村

御藏島村

委員長(無) 徳山正春

御藏島村四二

委員(無) 栗本忠吉

御藏島村

(無) 栗本美雄

御藏島村

(無) 西川豊雄

御藏島村四二

補充員(無) 廣瀬吉五郎

御藏島村

(無) 徳山實

御藏島村二六

(無) 廣瀬光藏

御藏島村三二

(無) 廣瀬清

御藏島村一六

書記長 栗本卯三男

御藏島

一〇八

八丈支廳

八丈島大賀郷村
電八丈三・五

支廳長 隼田義任

總務課長 池田要太

總務課主任 磯崎憲之

行政係長 菊池義秀

大賀郷村

八丈島大賀郷村
電八丈島七

委員長(無) 奥山種次

委員(無) 菊池信

(無) 中島米一

(無) 佐々木直次郎

補充員(無) 淺沼一義

(無) 源亮有

(無) 菊池德行

(無) 岡部尙吉

書記長 星野正直

書記 菊池胤男

菊池幸雄

山下正清

八丈支廳・大賀郷村

一〇九

三根村・櫻立村

八丈島三根村
電三根四

櫻立村

八丈島櫻立村
電中之郷三

委員長

委員長(無)

委員(無) 篠崎 石男

委員(無) 磯崎 賢男

三根村

櫻立村

(無) 橋田 久易

委員(無) 菊池 俊太郎

三根村

櫻立村

(無) 平井 政光

(無) 山本 守田

三根村

櫻立村

(無) 小宮 山松夫

(無) 松木 應作

三根村

櫻立村

補充員(無) 沖山 信行

補充員(無) 伊勢崎 倉之助

三根村

櫻立村

(無) 小澤 友徳

(無) 笹本 正一

三根村

櫻立村

(無) 奥山 龜作

(無) 奥山 勉

三根村

櫻立村

(無) 淺沼 榮一

(無) 佐藤 善松

三根村

櫻立村

書記 持丸 達三郎

書記 笹本 善次郎

中之郷村

八丈島中之郷村中
里電中之郷三

末吉村

八丈島末吉村
電末吉四

委員長(無) 大澤 政藏

委員長(無) 沖山 正

中之郷村

末吉村

委員(無) 豊島 春平

委員(無) 奥山 文利

中之郷村

末吉村

(無) 角谷 行恒

(無) 淺沼 良次

中之郷村

末吉村

(無) 金田 音吉

(無) 山本 寅松

中之郷村

末吉村

補充員(無) 山下 文治

補充員(無) 奥山 幸春

中之郷村

末吉村

(無) 金田 福之

(無) 大澤 俊次郎

中之郷村

末吉村

(無) 菊池 緑

(無) 山田 賢造

中之郷村

末吉村

(無) 山下 勝偉

(無) 奥山 與助

中之郷村

末吉村

書記 松代 秀次

書記 長沖 山正

中之郷村

末吉村

天野 政治

中之郷村・末吉村

一一一

file



橫濱市警察概要

橫濱市警察局

はしがき

昨年三月、新警察制度の下に発足した横濱市警察局の廳舎は、今迄縣廳内の一隅に間借りして不便を凌ぐに参つたのであります。この度横濱縣前に、平塚組並大林組の工事施工により、立派に新廳舎が竣工致しました。これ偏に市民各位と市当局の御支援の賜と存じ感謝に堪えません。我々市警察職員は愈々、益々職責の重大性を認識し治安維持に完璧を期し、参りたいと存じます。

これを機会に、皆様には横濱市警察の概要を御知らせ申上げ、市民各位に一層の御協力を煩したいと存じ、本冊子を編輯した次第であります。

昭和二十四年六月

横濱市警察局長

小林 正基





目次

はしがき	1
警察局廳舎工事概説	5
我國の警察組織圖	7
警察局組織一覽表	9
市内警察署一覽表	11
市警人員機關表	13
警察通信	14
警察教養	14
警察豫算	16
刑事警察	18
經濟警察	25
交通警察	31
保安警察	35





○ 横濱市警察局廳舎工事概説

新設場所 横濱市西區高島通二丁目自二十九番地 至三十二番地

敷地坪数 貳千參百五十九坪

建坪数 延七千參百四坪參合四寸

構造 木造瓦葺二階建

工事請負關係

工事期間	坪数	請負費	着工年月日	竣工年月日	請負人	備考
第一期	火 三七〇.五九坪	七,一八七.六〇円	昭和三年九月	昭和四年七月	平塚組	正面中央建物
第二期	五,六四.二五坪	一〇,六七六.三九〇円			大塚組	後方別棟建物
第三期	二,四〇〇.〇〇坪	四,二〇〇.〇〇〇円			平塚組	正面西側建物
第四期	一,二九.五〇坪	一,六三六.三五〇円			平塚組	車庫三棟 油庫一棟
其他雜工事		二,二六五.四〇〇円			大塚組	植樹工事 衛生工事 電気工事

總工事費 貳千五百九拾萬六千八百四也

支出費目 昭和二十三年度國庫補助による初年度採費

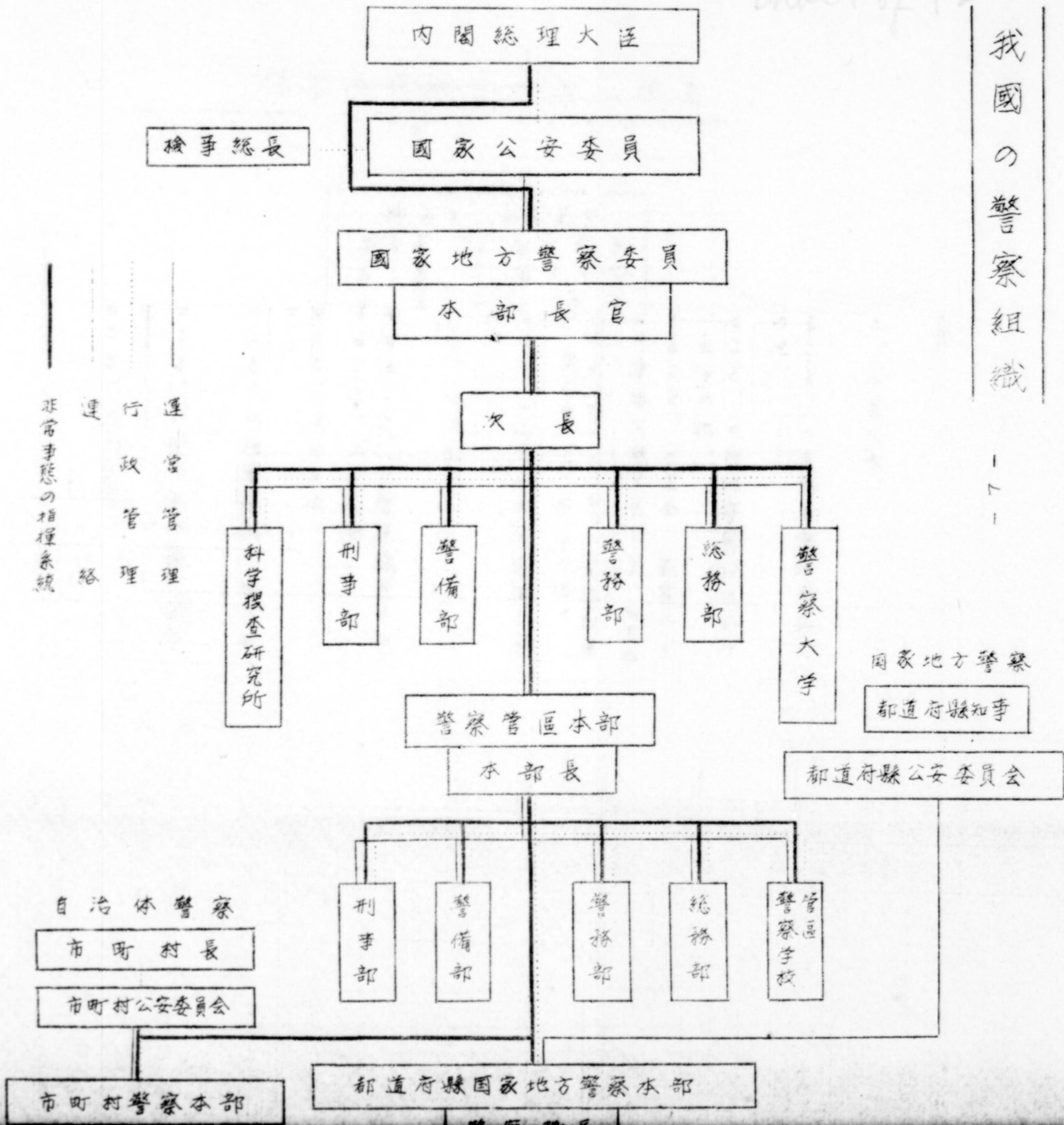


775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

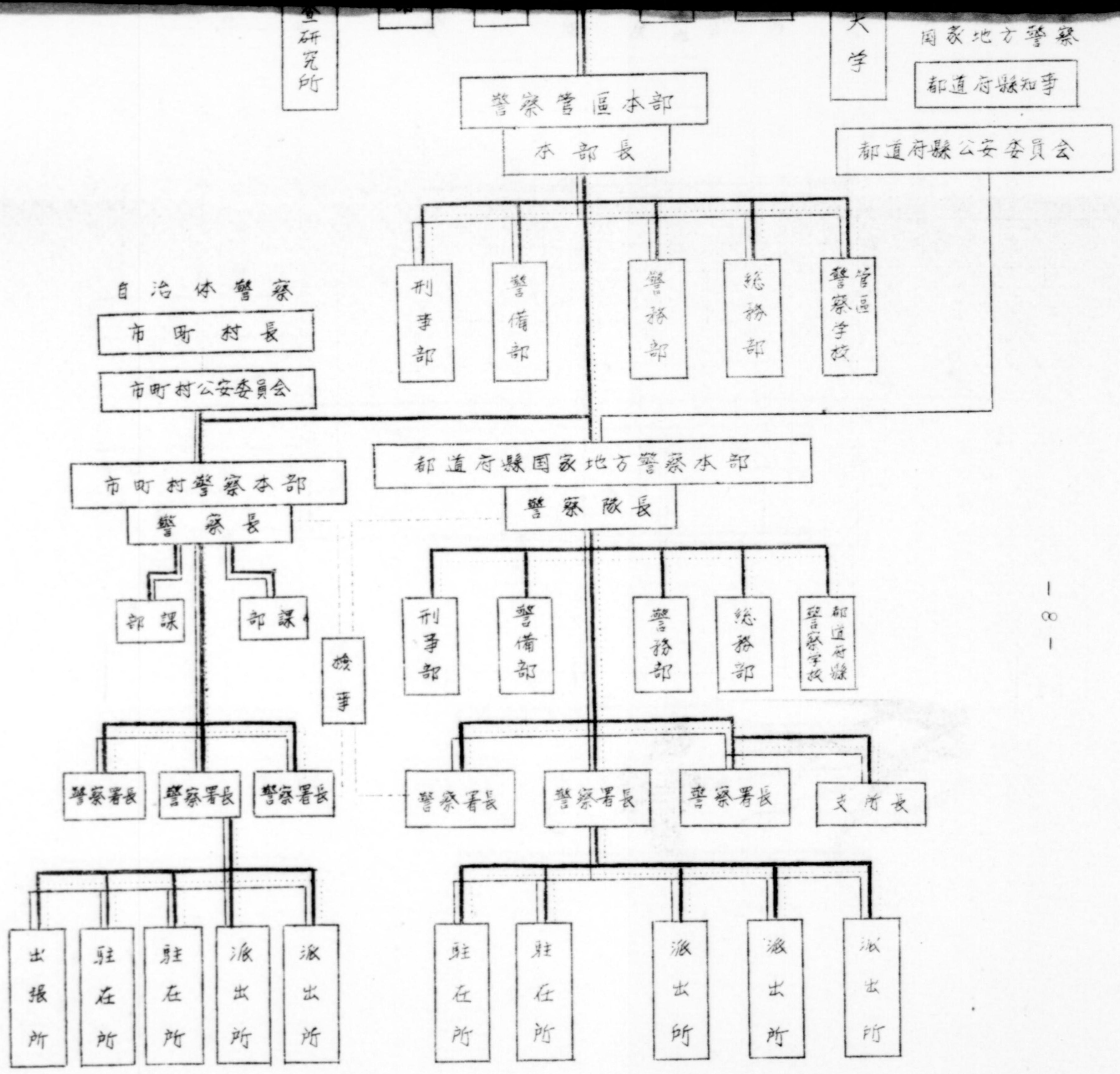
Organization chart of Police Force

我國の警察組織



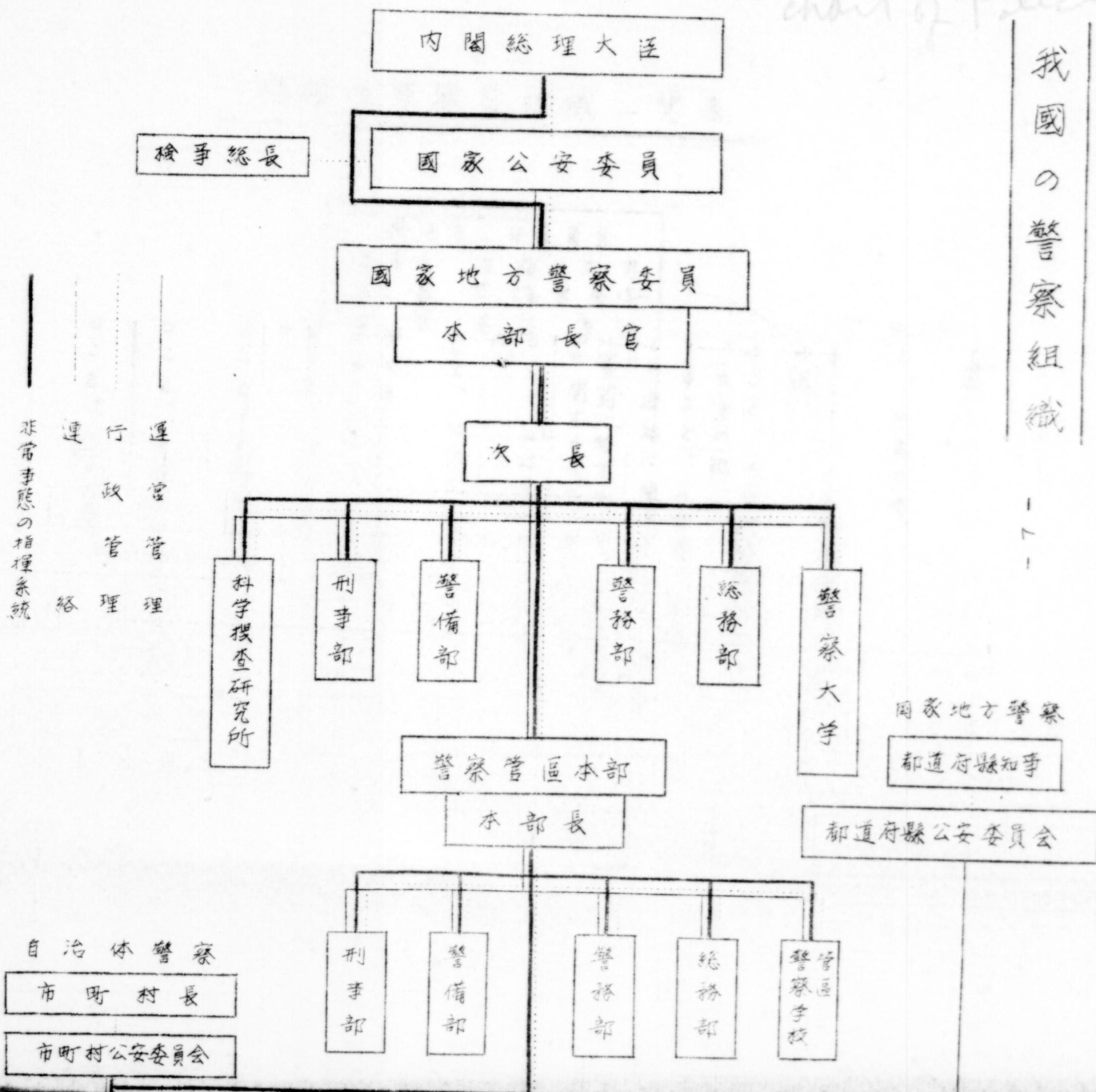
775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.



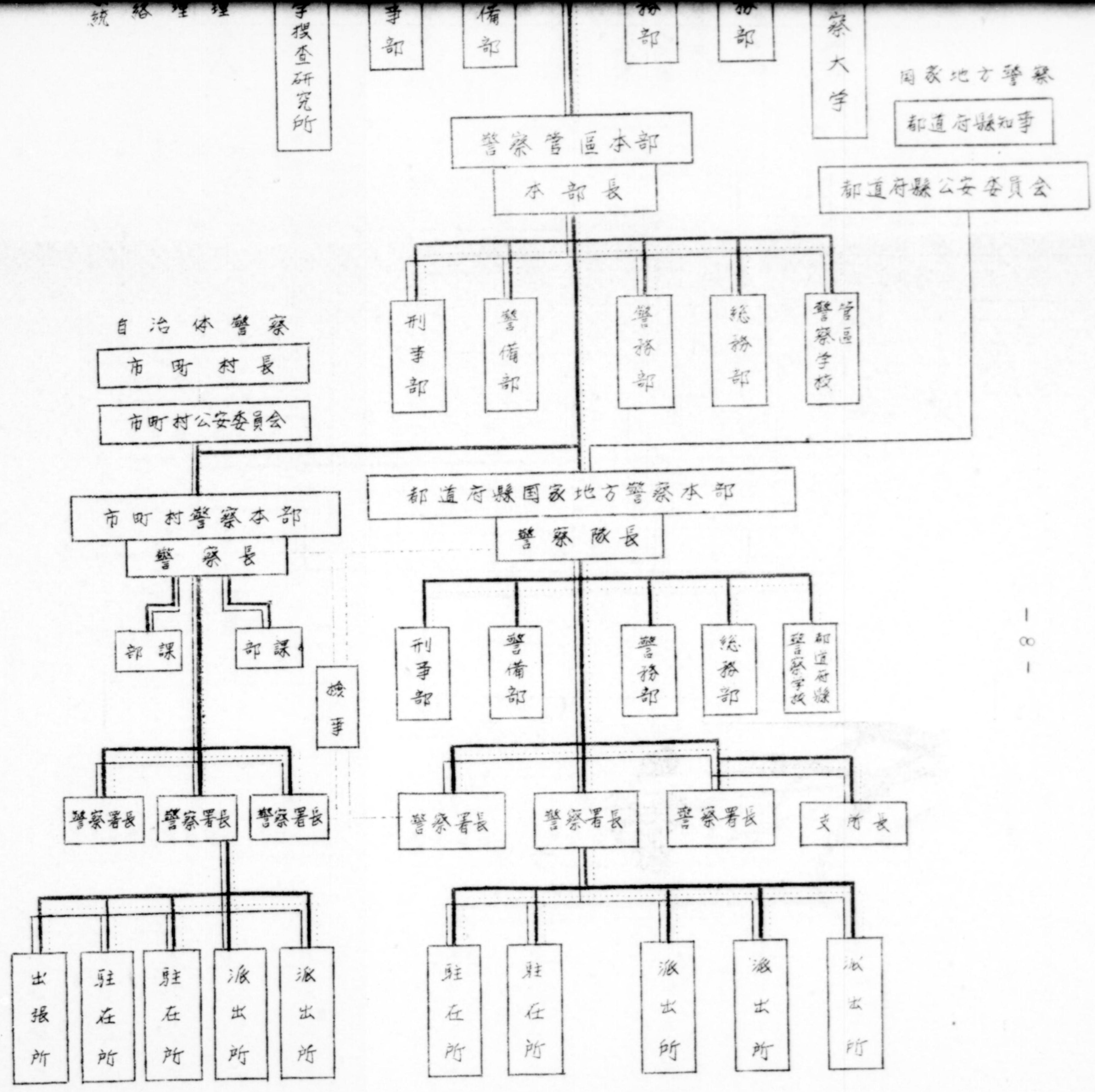
Organization chart of Police Force

我國の警察組織



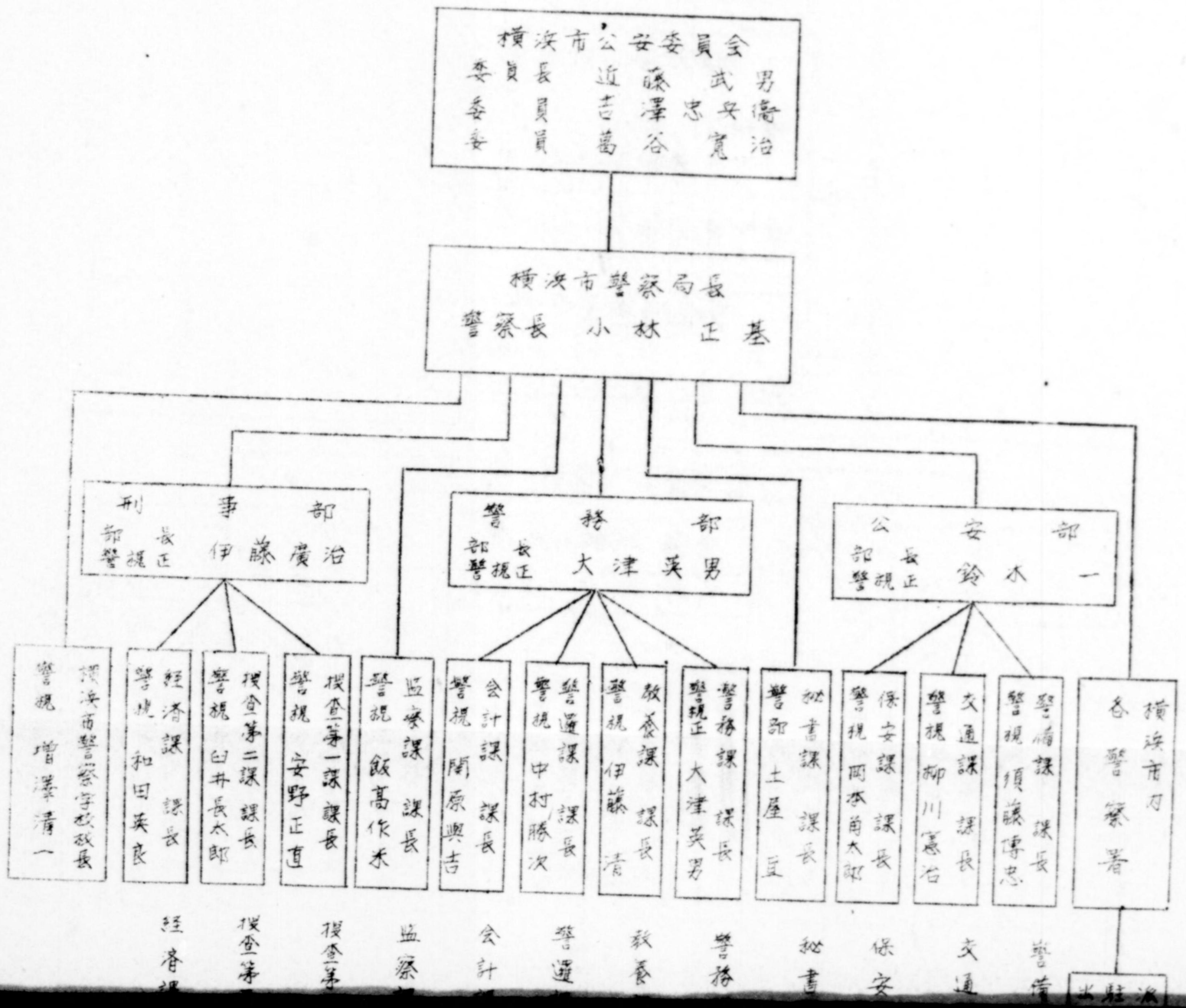
連行連
行政管
管管管
理理理
非常事態の指揮系統

自治体警察
市町村長
市町村公安委員会



100

橫濱市警察局組織一覽表



101



横浜市内
各警察署
出張所
駐在所

※ 各課事務分掌

101

- 警備課 一 警備に関する事。二 其の他。
- 交通課 一 交通取締に関する事。二 自動車運転免許に関する事。三 其の他。
- 保安課 一 風俗警察に関する事。二 行政警察諸法令の取締に関する事。三 其の他。
- 秘書課 一 公印の管子に関する事。二 市会、国家地方警察其の他の機関との連絡に関する事。三 其の他。
- 警務課 一 職員の任免給子、職務賞罰に関する事。二 警察制度組織その他の研究及企画に関する事。三 其の他。
- 教養課 一 警察教養に関する事。二 巡査の採用試験に関する事。三 其の他。
- 警邏課 一 警邏係に関する事。二 其の他。
- 會計課 一 予算及び物品に関する事。二 警察職員の貸與品、給與品に関する事。三 其の他。
- 監察課 一 勤務規律に関する事。二 其の他。
- 捜査第一課 一 強力犯罪に関する事。二 犯罪鑑識に関する事。三 其の他。
- 捜査第二課 一 知能犯罪に関する事。二 青少年犯罪に関する事。三 其の他。
- 経済課 一 経済警察に関する事。二 其の他。

横濱市内警察署一覽表

横濱市公安委員会

横濱市警察局長

- 署長警視五十嵐勇
戸塚警察署
- 署長警視近藤章
川和警察署
- 署長警視鷲田賢志
大岡警察署
- 署長警視渡辺辰
山手警察署
- 署長警視高橋一夫
壽警察署
- 署長警視高野宏太郎
戸部警察署
- 署長警視上村吉男
神奈川警察署
- 署長警視岩本謙治
鶴見警察署

- 駐出各
在張出
所所所
- 警務係
- 會計係
- 警邏係
- 交通係
- 保安係
- 司法係
- 搜查第一係
- 搜查第二係

横濱市警察定員現員表

	警察長	警視正	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	その他	合計
定員	1	5	23	46	216	403	2841	353	3,885

横濱市警察署派出所その他表

警備詰所	巡査出張所	巡査駐在所	巡査派出所	巡査部長派出所	警部派出所	警察署
6	11	40	140	2	1	12

○ 警 察 通 信

横浜市警察局警備専用電話交換機は、新廳舎開設に伴ひ新設開通した。警察局業務運営上に於て重大なる分担業務である通信は、寸刻と専ら部門であるので、従来の機構を打破して文化途上にある社会構成のために、一般公衆電話と通信とを直結し何時如何なる場所に於ても警察と連絡出来る様になつたから、緊急な場合は該当公衆電話番号を呼出して載ければ直ちに臨機なる方法を取る様にす。

○ 警 察 教 養

民主警察の確立の爲めには、新警察制度の裏付として警察吏員の高き教養が要請される。

個々の警察吏員の総てが民主警察の主義に徹し、人格教養と高めの職務執行の能力を養ふ爲めに警察吏員の教育訓練は忽に出来な。

当警察局に於てはこの重要性を認め、
 横浜市鶴見区岸谷二〇〇番地 横浜市警察学校 を設立し現任の巡查部長 逕査を交替でニヶ月間入校せしめて教育訓練に当り既に五〇五名の修了を見てゐる。

この外に神奈川県警察学校、東京管区警察学校、警察大学校等に別表警察教養制

度四通りの教養を行ない、尚日々警察局、各警察署等に於て必要な教養訓練を行なつてゐる。

一般教養		委託教養	学校教養	区分	横濱市警察教養制度図			
新任教養	普通教養	その他の教養	専科教養	種別	学校又は責任者	科目	対象	期間
新任教養	普通教養	その他の教養	専科教養	種別	横濱市警察学校	現任科 幹部科 専科	巡査部長、巡査 各級幹部及びその昇任試験合格者 警察吏員一般	二 月 一 月 一 月 以上
警察署長	警察学校長	一般大学校その他		学校又は責任者	縣警察学校 管区警察学校 警察大学校	初任科 高等部 高等科	巡査見習生 巡査部長 警部補 警部 警察吏員一般	六 月 六 月 四 月 不 定
警察署長	警察学校長	一般大学校その他		科目	縣警察学校 管区警察学校 警察大学校	初任科 高等部 高等科	巡査見習生 巡査部長 警部補 警部 警察吏員一般	六 月 六 月 四 月 不 定
警察署長	警察学校長	一般大学校その他		対象	縣警察学校 管区警察学校 警察大学校	初任科 高等部 高等科	巡査見習生 巡査部長 警部補 警部 警察吏員一般	六 月 六 月 四 月 不 定
警察署長	警察学校長	一般大学校その他		期間	縣警察学校 管区警察学校 警察大学校	初任科 高等部 高等科	巡査見習生 巡査部長 警部補 警部 警察吏員一般	六 月 六 月 四 月 不 定

○ 警察 豫 算

昭和二十四年度警察費歳入豫算

警察費歳入 合計 二三七、八六六、五五四円

内 譯

入 場 税 二三五、二〇一、〇四二円

諸 手 数 料 一、六〇八、一二〇円

雑 收 入 一、〇五七、三九二円

昭和二十四年度警察費歳出豫算

警察費歳出 合計 五五七、〇九〇、二三〇円

内 譯

人 件 費 四一一、六六〇、八四五円 一人当平均 一〇五、九六二円

物 件 費 一四五、四二九、三八五円 一人当平均 三七、四三四円

内起債と財源とする施設費 四八、八一五、四三七円

計	月 別												物品の部	件数	金額	備考
	二月	二十四年一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	二十三年三月				
六九〇〇点	二四六	文五五	五六七	五八〇	五七五	七〇四	六六一	六六六	六四九	六五五	四六九	四七三点	一四〇件	一三五、一三七、六〇		
二、三六二件	一六二	一九二	一五九	一六五	二〇三	二五〇	二六三	二三八	二二七	二一四	一四九	一四〇件	一四〇件	一三五、一三七、六〇		
一、三一大、九九八、八六	五四、〇三三、三四	一三三、七九六、六八	八四、三三二、二四	一〇七、七三三、八八	一〇四、一八三、六五	九四、〇四七、二三	一一四、三九一、三二	二六七、四五五、六二	七一、三一五、五六	八二、三九〇、〇三	六八一、九〇、七一	六八一、九〇、七一	六八一、九〇、七一	六八一、九〇、七一		

拾得物件数調

自昭和二十三年三月
至昭和二十四年二月

○ 刑 事 警 察

何れ好んで悪事と働く者はないのであるが、犯罪の発生は逐年増加して
ることは、次第に世相が世智辛くなつて来る証拠である。

即ち押奈川縣下における犯罪の発生は大正十三年には一万一千七百四十七件
であつたのが、支那事變の勃発した昭和十二年には三萬八千六百七十七件と約三
倍に増加し、更に昨年は五萬一千八百三十三件と急上昇を示している。

さらにこれを兇惡犯罪についてみると、終戦前は年數十件であつたものが、
終戦後は急激に増加して、昨年は更にその六倍に匹敵する五九五件といふ好
ましくない増加振りを示している。

捜査陣容も又犯罪の趨勢に比例して、順次強化変遷して今日に至つてゐるも
ので、試みにその沿革を辿つてみると明治三十八年八月縣保安課内に刑事警
察事務の係員を設けたのが今日の捜査課の嚆矢であつて、其の後犯罪の増加
に随つて大正八年七月に初めて刑事課の誕生となり、捜査の一翼として鑑識
係を設置したのも此の頃からで、当時の刑事警察は全く輕視されていたもの
で、各警察署の捜査係員の陣容も極めて貧弱なものであつた。然るにその後
歐洲大戦後の好景氣に伴う犯罪の増加、又は大正十二年の大震災に際しての
暴動の発生、又は終戦後の混乱、並に進駐軍關係犯罪等々と、捜査も亦次第

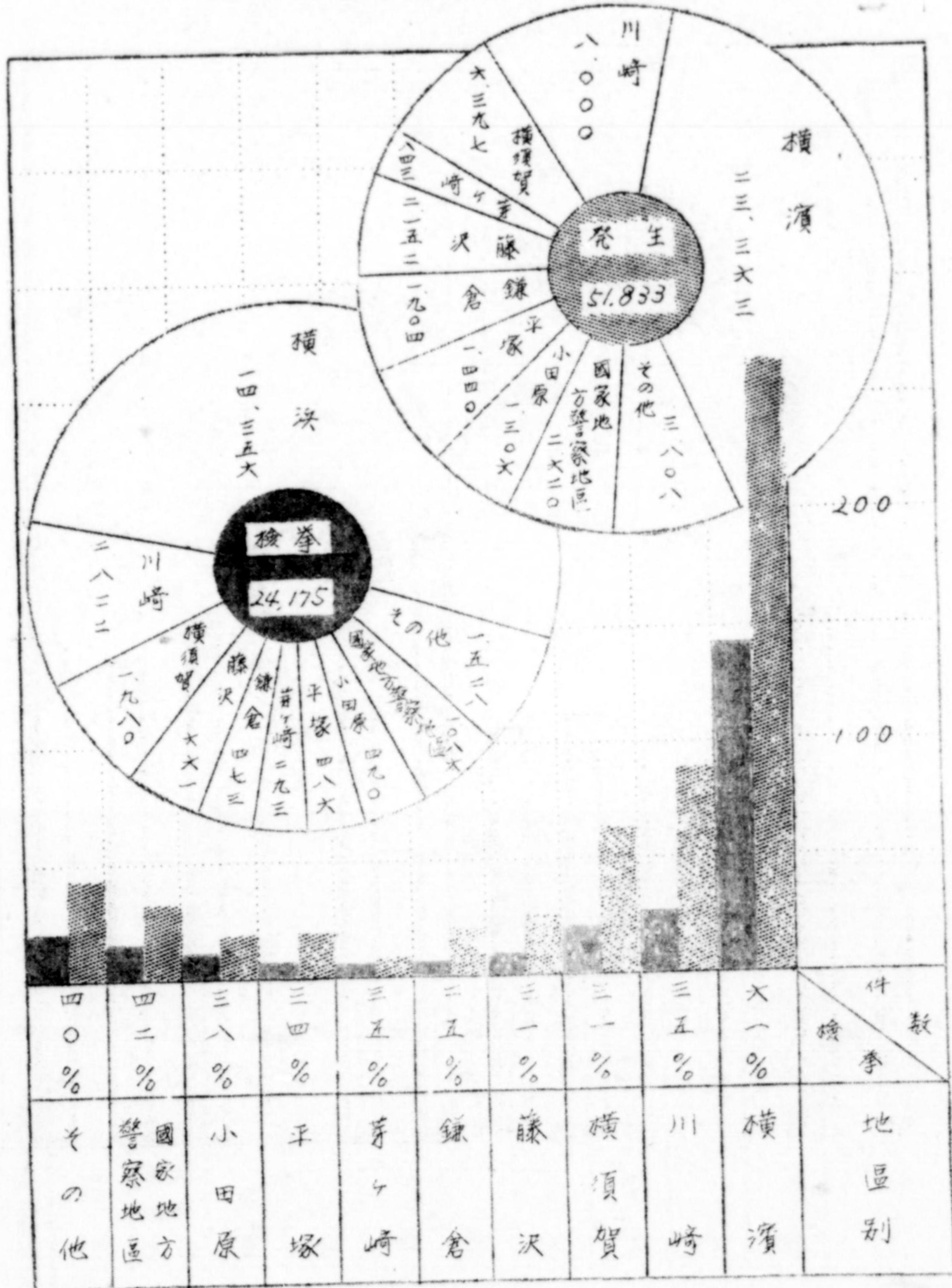
に後継になつてきたので昨年三月の市警発足当時の市内捜査係員は本部並警察各署合せて一九二名に達したのである。

一面稍くともすると軽視され勝ちであつた犯罪鑑識は、憲法の精神である基本的人権の尊重の線に沿ひ、犯罪の捜査についても証拠の蒐集が絶対必要となつたのでその重要性に鑑み、着々と完備を怠いた結果、発足一ヶ月後の今日では、磁気録音機、試験器を始め、エニオン顕微鏡、比較顕微鏡、ホームライト等々現代科学の粋を整備して、証拠保全の完璧に邁進してゐる。

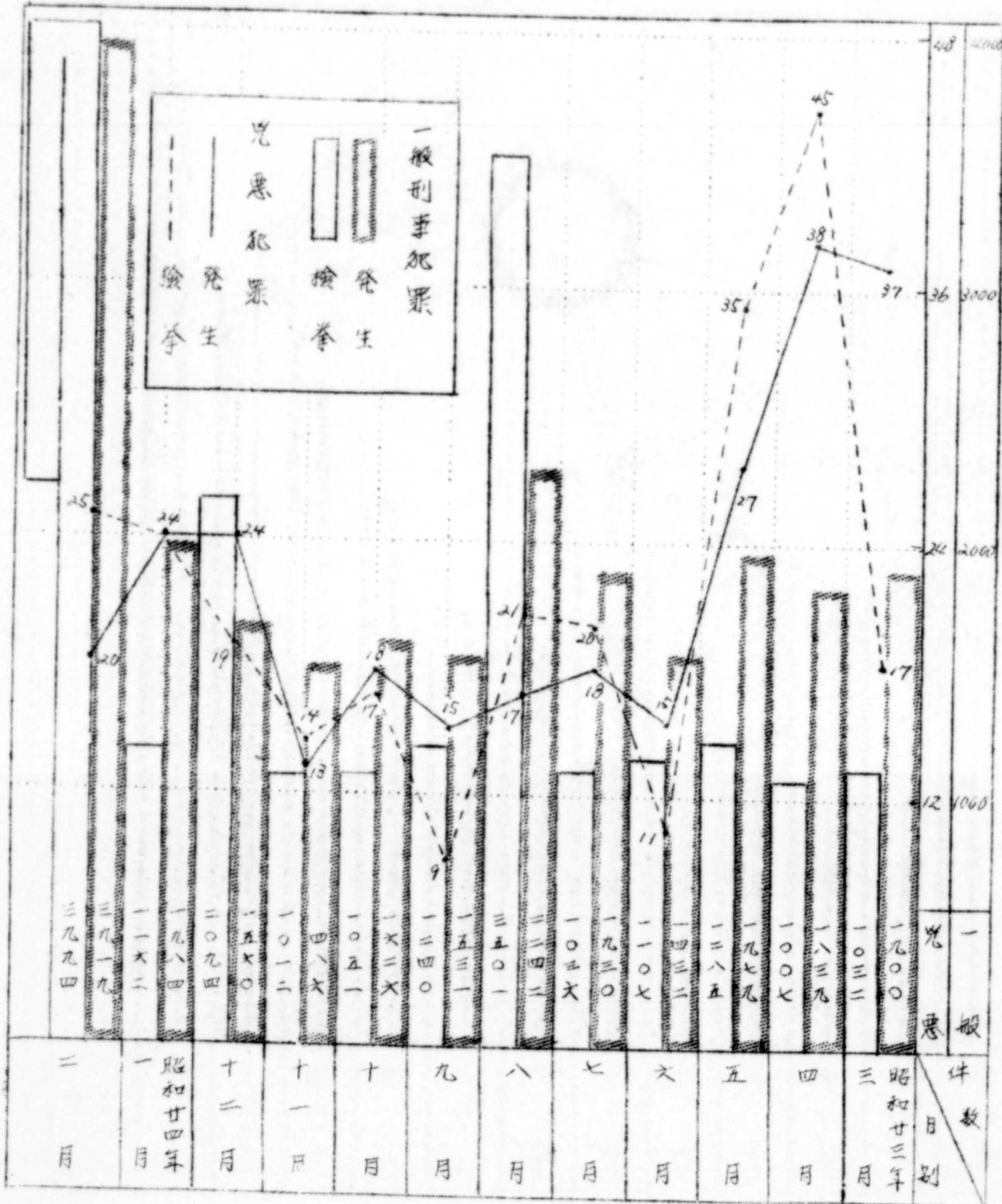
市警察発足後の犯罪の趨勢は次の表で見られる通りであるが、これと当市の常住人口と対照すると三十五人に一人の割合で何等かの刑法犯の被害を受けたことになる。なおこれを市警察吏員全員では一人が七件余の負担であり、更に捜査係専務員について見ると一八七十七件の負担となつてゐる。



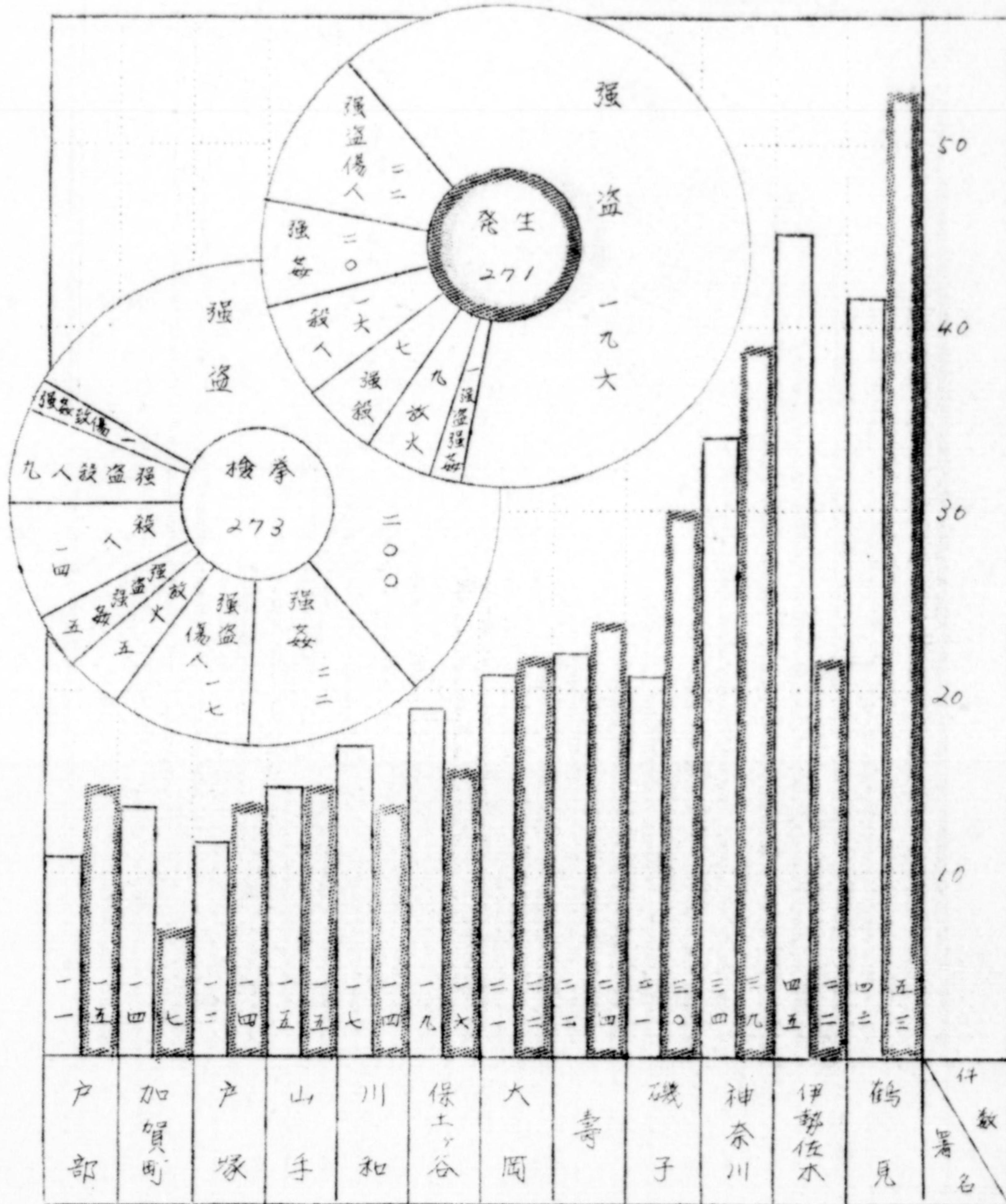
神奈川県内の昭和二十三年度地区別刑事犯罪発生検挙状況



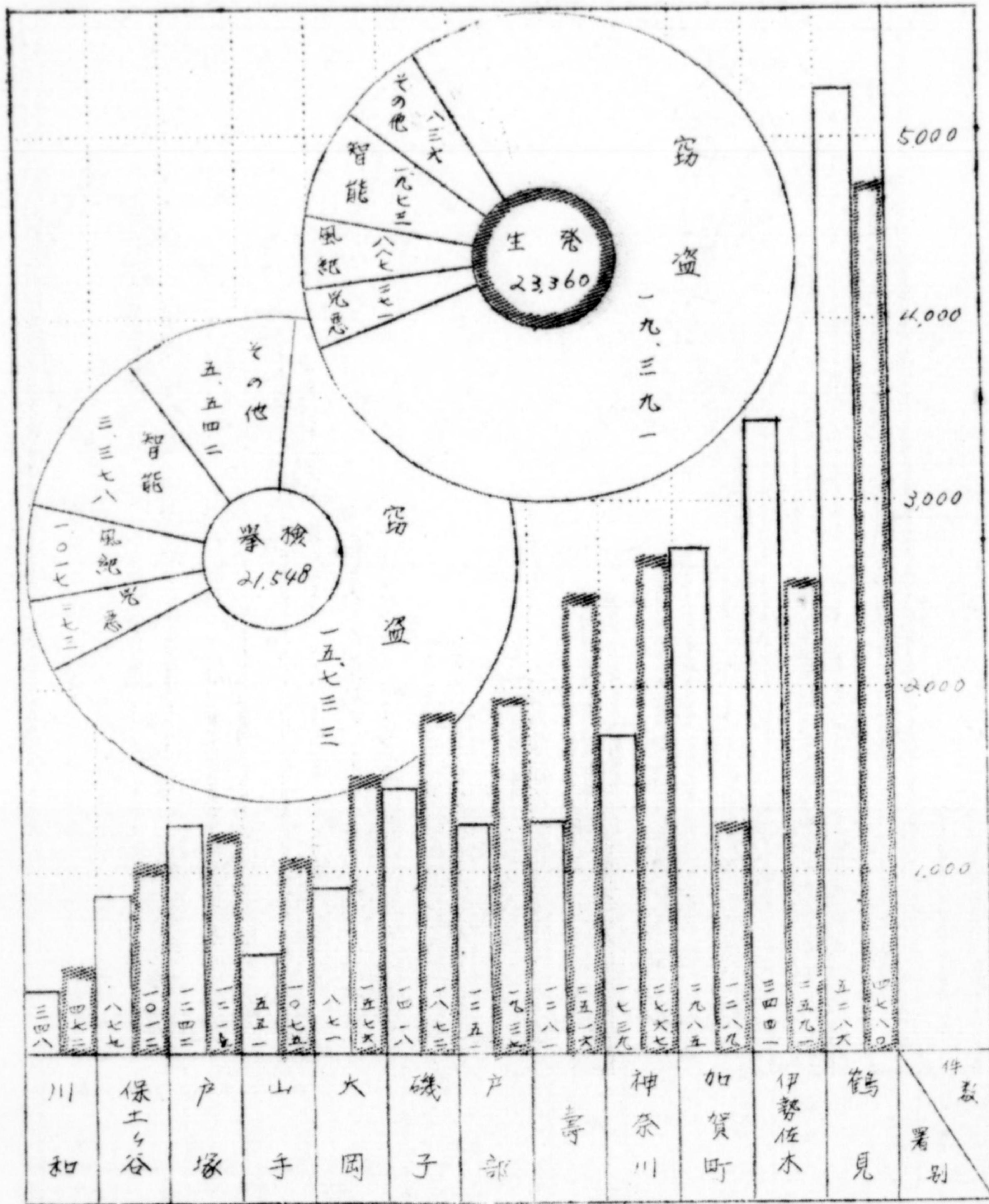
横濱市警發足後一々年の
一般刑事犯罪及兇悪犯罪月別発生検挙状況



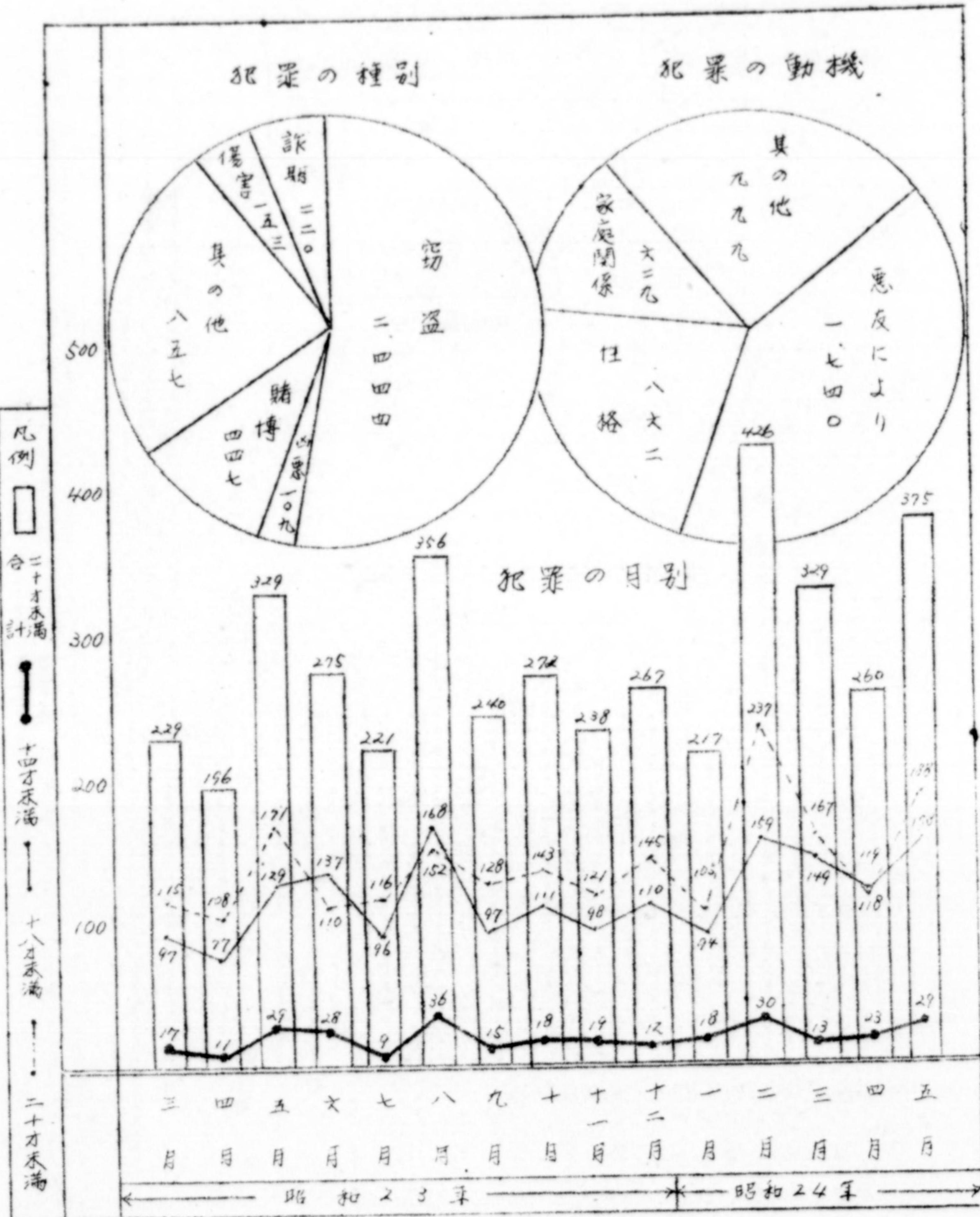
横濱市警発足後
一々年の市内各署別兇悪犯罪発生検挙状況



横濱市警 足 後
一ヶ年の市内各署別一般犯罪発生検挙状況



少年犯罪檢舉人員調査表 日昭23.3.1 至昭24.5.31



○ 經濟 警察

主要食糧取締結果一覽表

自昭和 23年3月
至昭和 24年5月

取締對象	取締件數	違反件數	送廳処分		行政指導		備考
			件數	人員	件數	人員	
生産者	1,668	1,589	832	791	757	757	
一口一力一	10,911	10,845	5,470	5,472	5,375	5,375	
配給機関等係	8	6	2	2	4	4	
大口需用者	63	29	15	15	14	14	
華台朝人	759	752	455	456	297	298	
一般消費者	6,116	5,534	3,507	3,517	2,027	2,028	
その他	2,286	2,195	1,174	1,079	1,021	1,021	
計	21,811	20,950	11,455	11,332	9,495	9,504	

主要食糧押收物資數量表

月 別	數 量	備 考
23年 3月	10,781,000	
" 4	18,854,364	
" 5	17,631,120	
" 6	15,885,042	
" 7	22,984,300	
" 8	12,309,810	
" 9	23,849,612	
" 10	32,569,704	
" 11	16,591,289	
" 12	20,244,123	
24年 1	15,914,123	
" 2	25,452,213	
" 3	27,443,753	
" 4	24,373,794	
" 5	21,314,462	
合 計	306,198,709	

密造取締検査数表

日 別	検査件数	検査人員
23年 10月	6	6
" 11	8	8
" 12	9	9
24年 1	14	15
" 2	59	61
" 3	33	33
" 4	22	24
" 5	19	23
" 6	26	3
計	196	182

密造取締の結果授收した物資一覧表

日 別	濁酒	焼酎	麹	その他の原料	密造機具 及び材料
23年 10月	133.50	9.90		155,000	134具
" 11	50.00	10.00	7.50	52,000	4
" 12	4.86	45.45			20
24年 1	256.20	33.11	11.00	61,200	50
" 2	121.31	32.45	2.00		110
" 3	103.30	55.09	1.80		59
" 4	56.50	19.50	61.00	78,400	322
" 5	114.20	21.01		1559,000	67
" 6	14.00	6.03	1.00	14,000	354
計	853.87	232.54	84.30	1919,600	1128

物資関係取締結果表

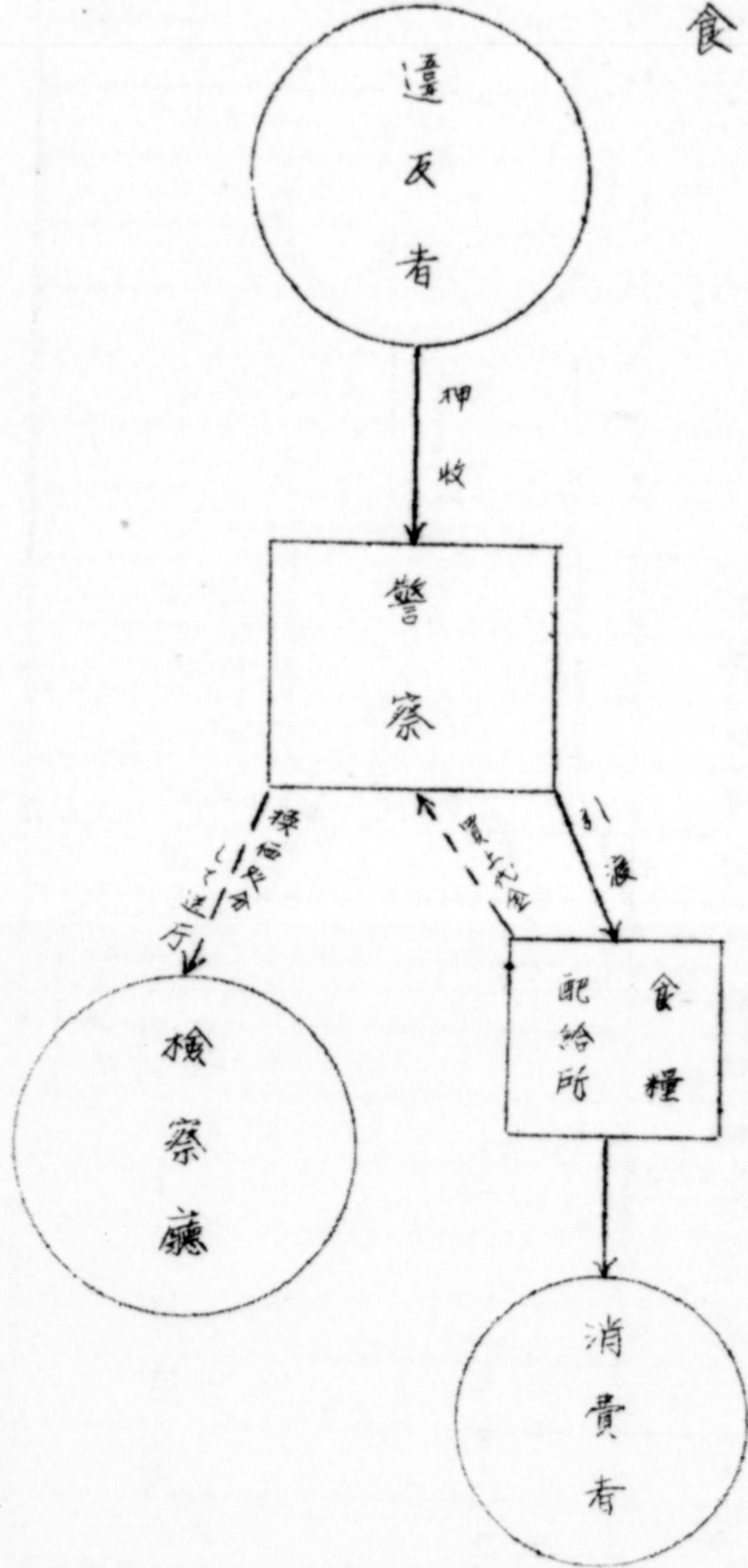
昭和23.2 至昭和24.4

物資別	単位	数量
生地	ヤール	73,908
反物	反	858
衣料品	点	80,076
糸	ポンド	1,901
糸類	ポンド	2,863
麻帆布	反	278
原皮	枚	242
皮革	坪	614.1
革製品	点	28,411
木炭	俵	754
薪	束	7,624
石炭	噸	133,150
工クス	噸	412,000
加工炭	個	23,000
機械油	ドラム	20
重油	噸	149
銅管	本	1,050
鉄鋼	噸	537
敷布	枚	545
木材	石	18
工ム製品	点	48
肥料	キ口	1,111,475
紙	枚	7
硝子	平方呎	198

主食

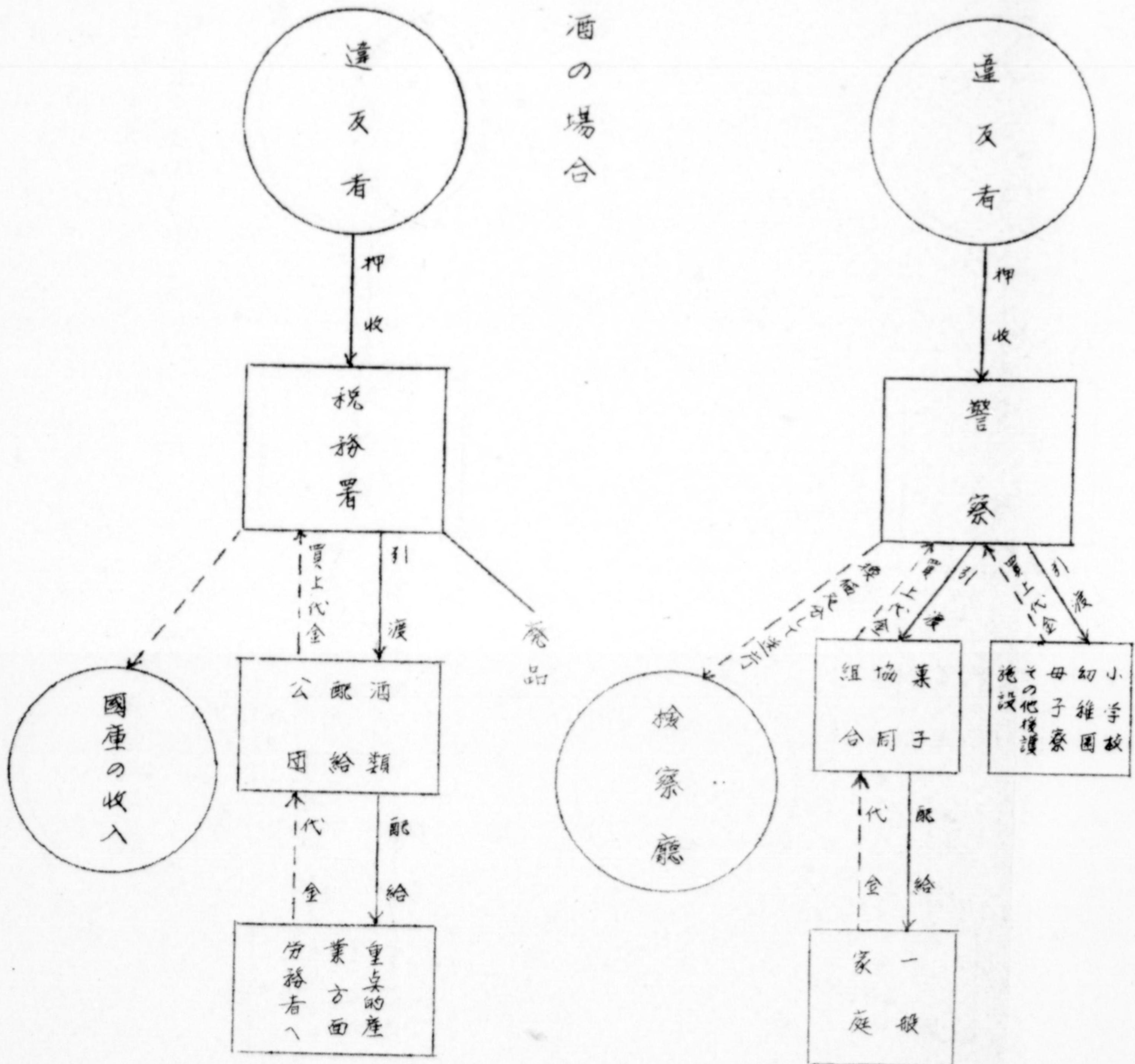
警察で押収した食糧(料)は次の様に処理する。

- 一 違反者より押収した食糧(料)は
- 二 警察ではその品物を取扱機関へ引渡す。
- 三 取扱機関は⑤で買上げて代金を代金を警察へ差出す。
- 四 買上げられた品物は取扱機関より市民に配給する。
- 五 警察は買上代金と書類と共に証拠品として検察廳へ送致する。



菓子類

密造酒の場合



○ 交 通 警 察

交通事故の防止については、横浜市警察発足以来積極的な指導、取締の爲、漸次減少の傾向にあるが、尚別表の通りの数の発生をみている。

元來交通事故を防止するには、次の三つの点に特に必要である。

一、安全交通の爲めの施設の充実

安全地帯、横断歩道、駐車場、道路標識、信号燈等の設備の充実

二、公衆が道路交通関係法規を充分知ること

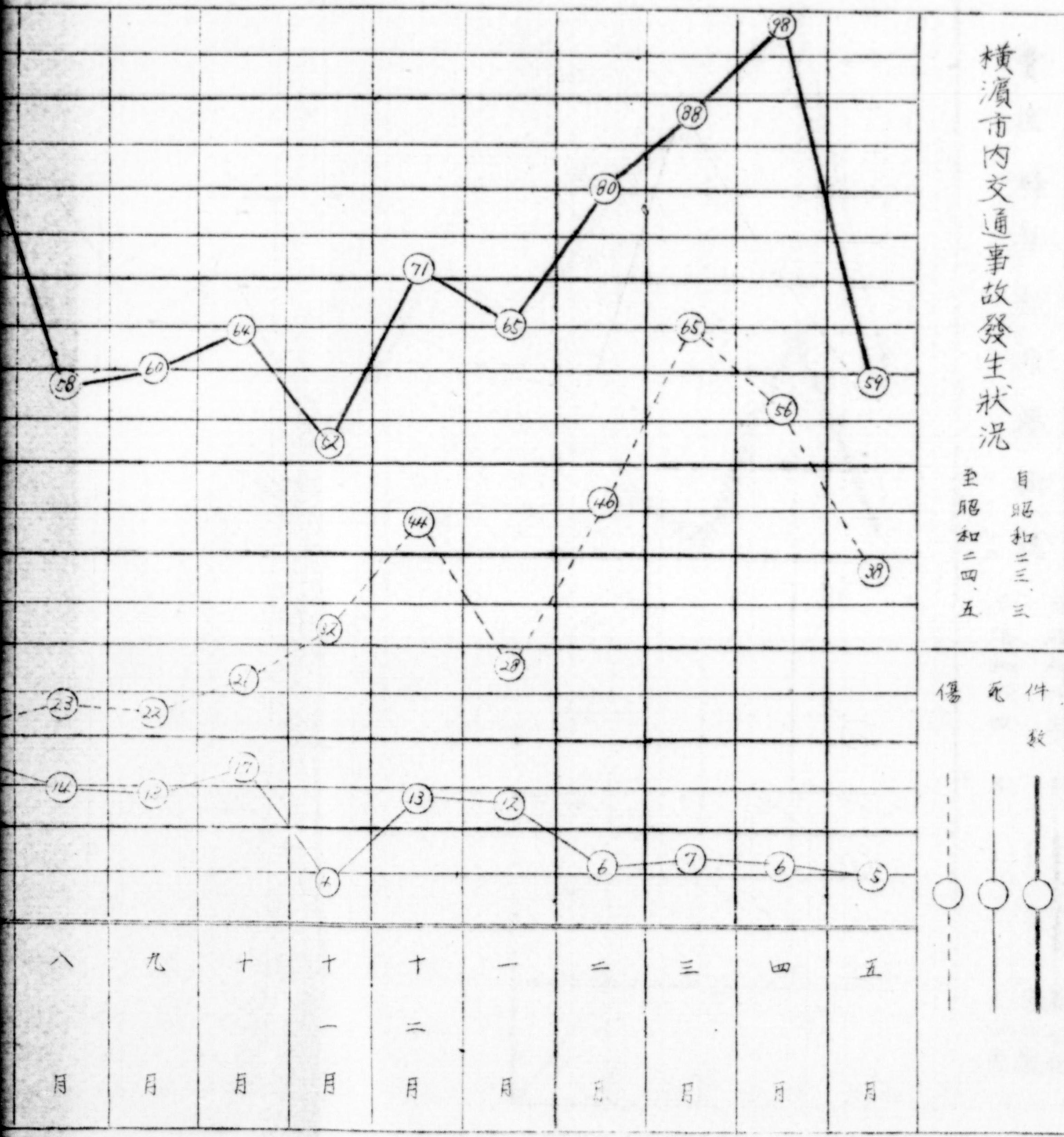
この爲めに当警察局では随時講習会、新聞、ラジオ、映画、小学校児童等を通して、法規の周知徹底を図る事

三、公衆の交通法規遵守の訓練

如何に施設が充実に公衆が法規を知つてもこれを、交通法規を守らなければ効果はない

以上の点につき一層指導取締と厳にし、安全にして円滑なる交通秩序の維持に努めていく。

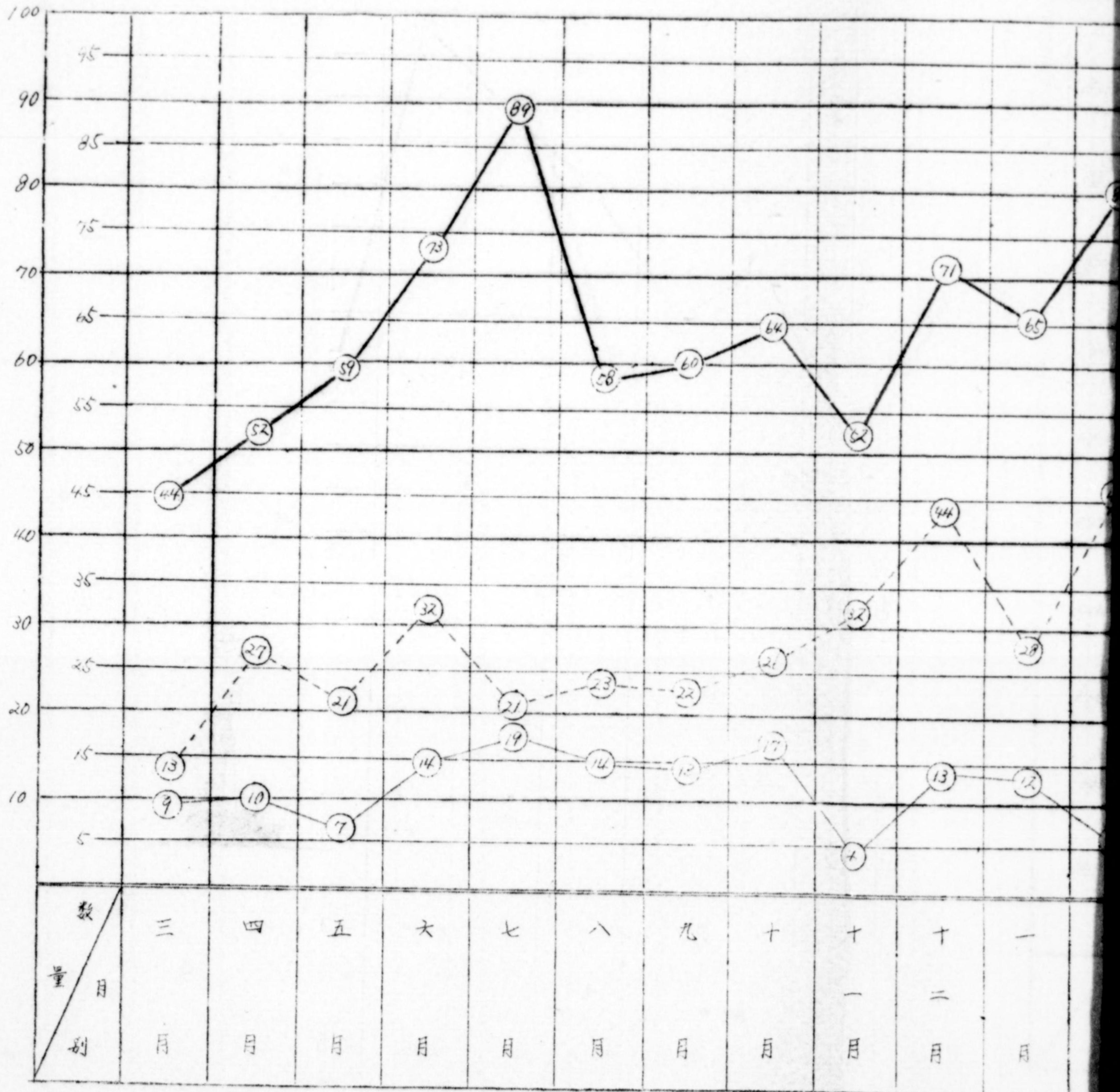


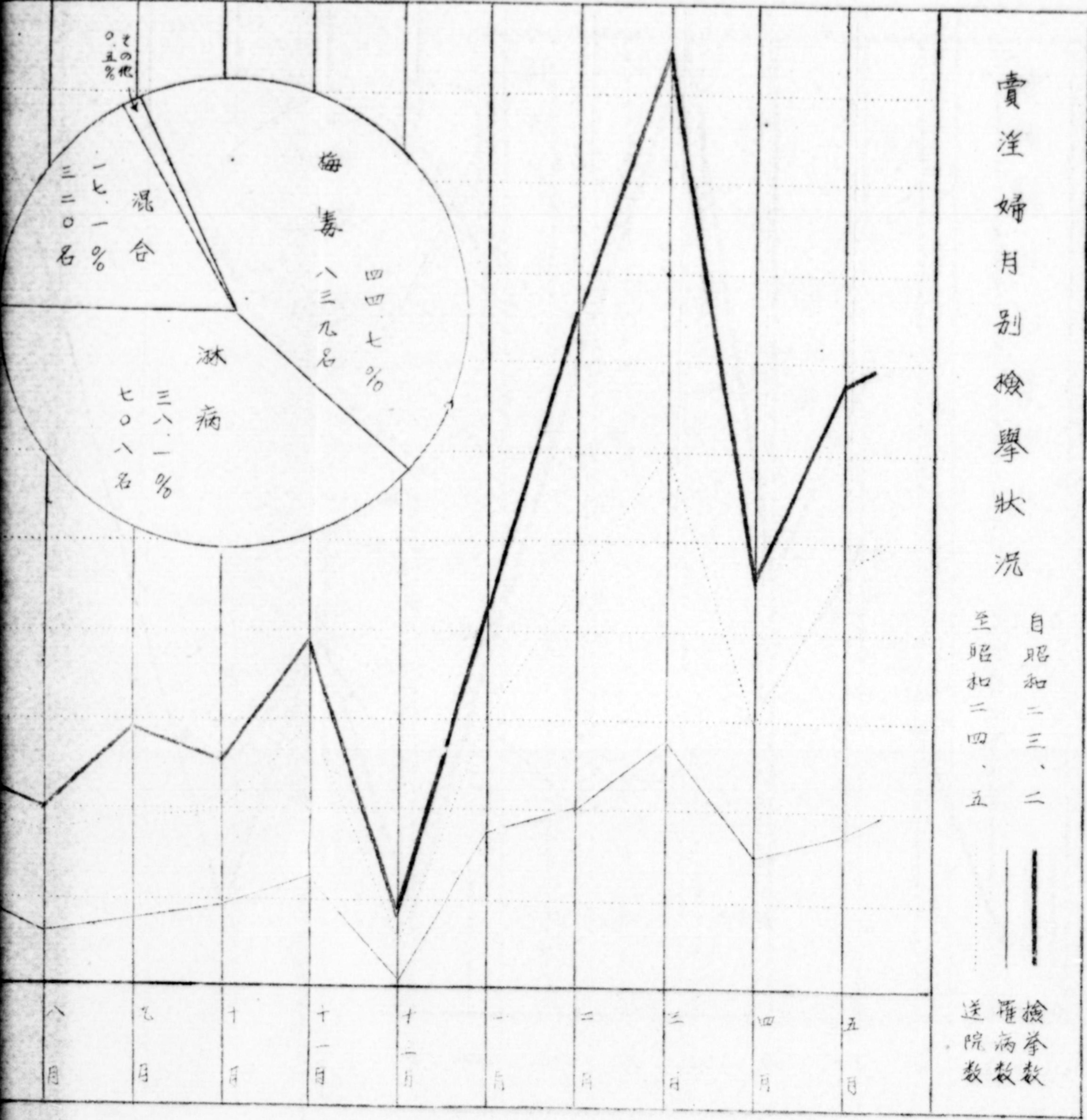


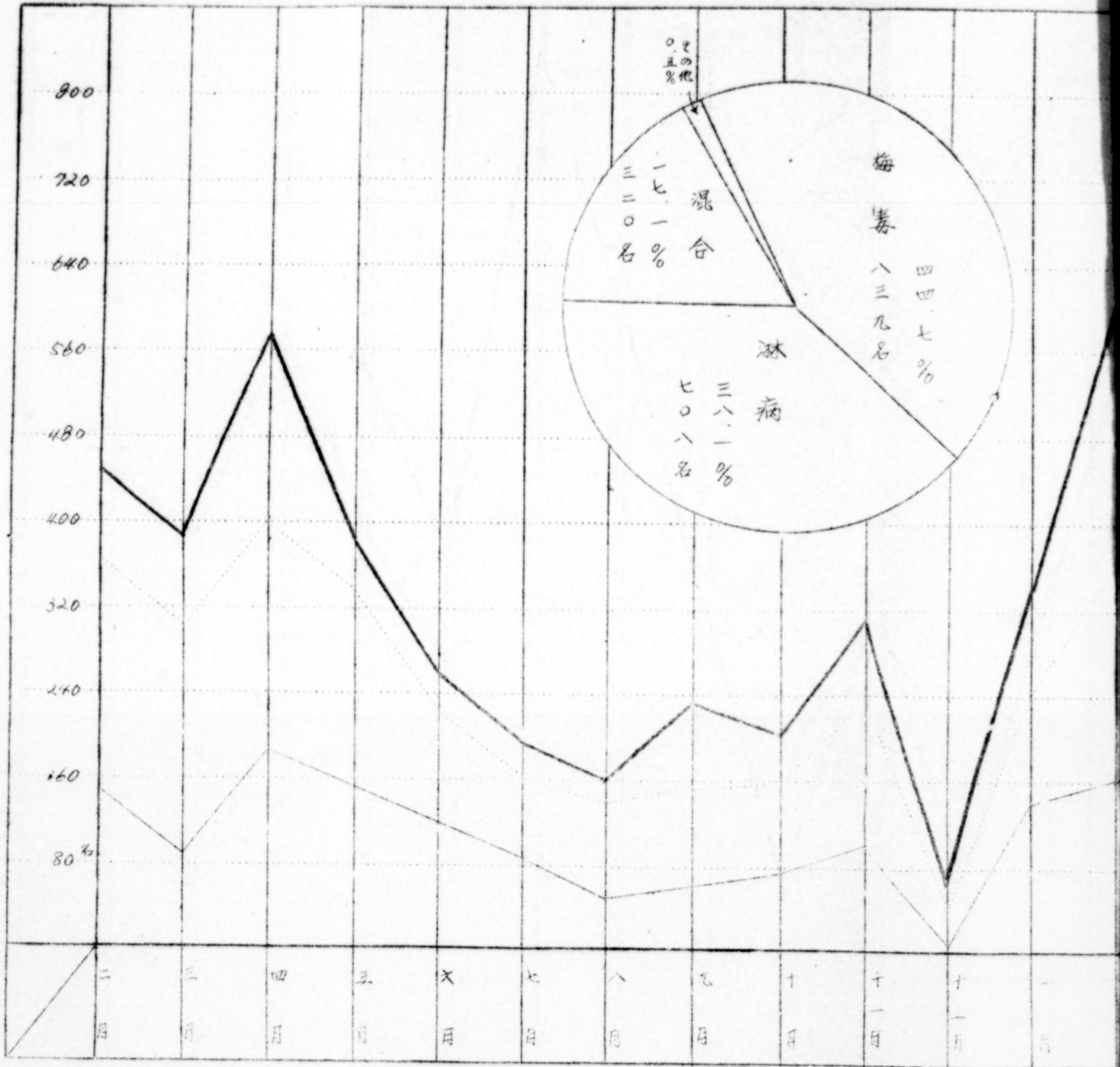
横濱市内交通事故發生狀況

自昭和二三、三
至昭和三四、五

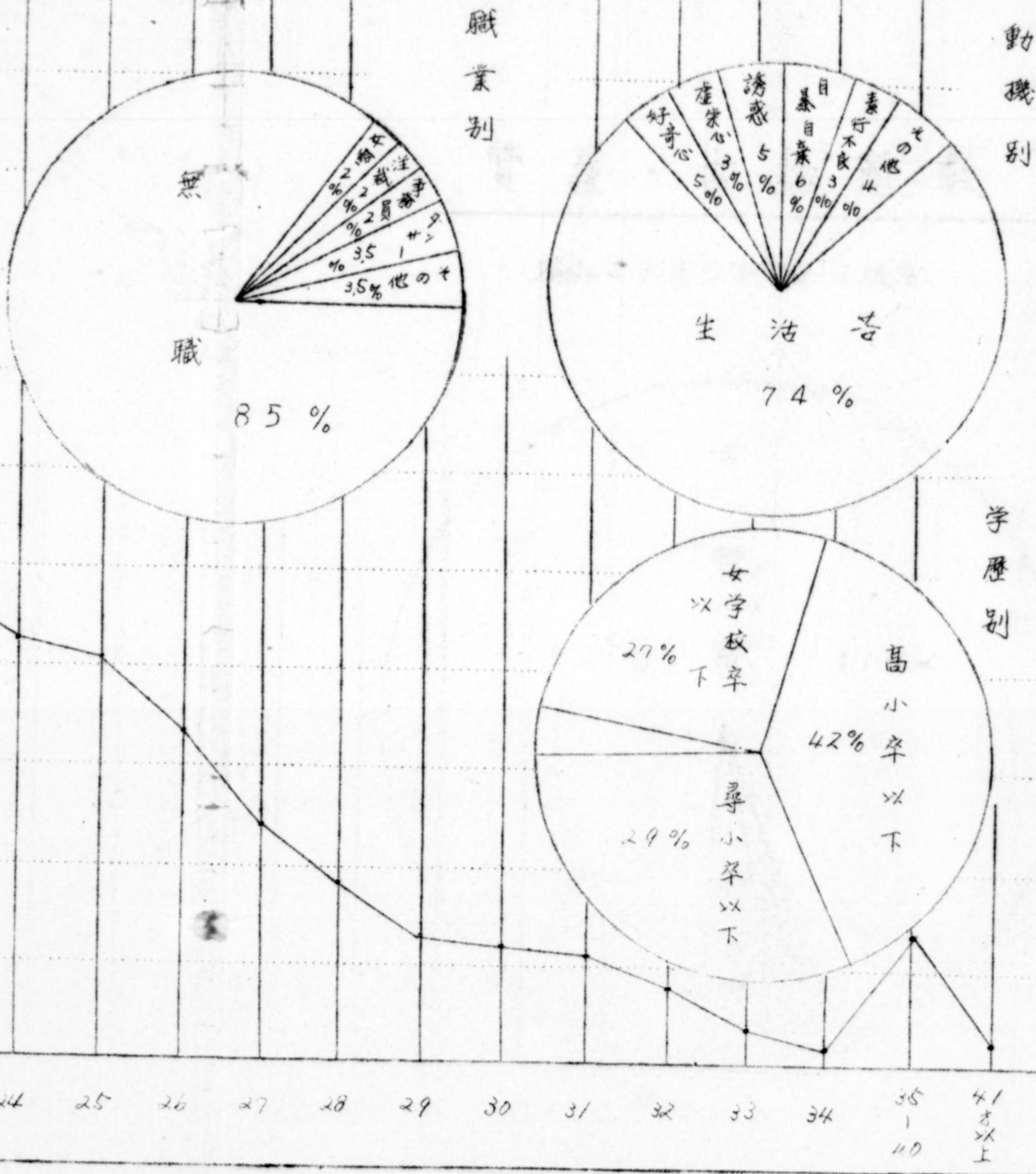
傷 死 件数
○ ○ ○
- - - - -
| | |
| | |



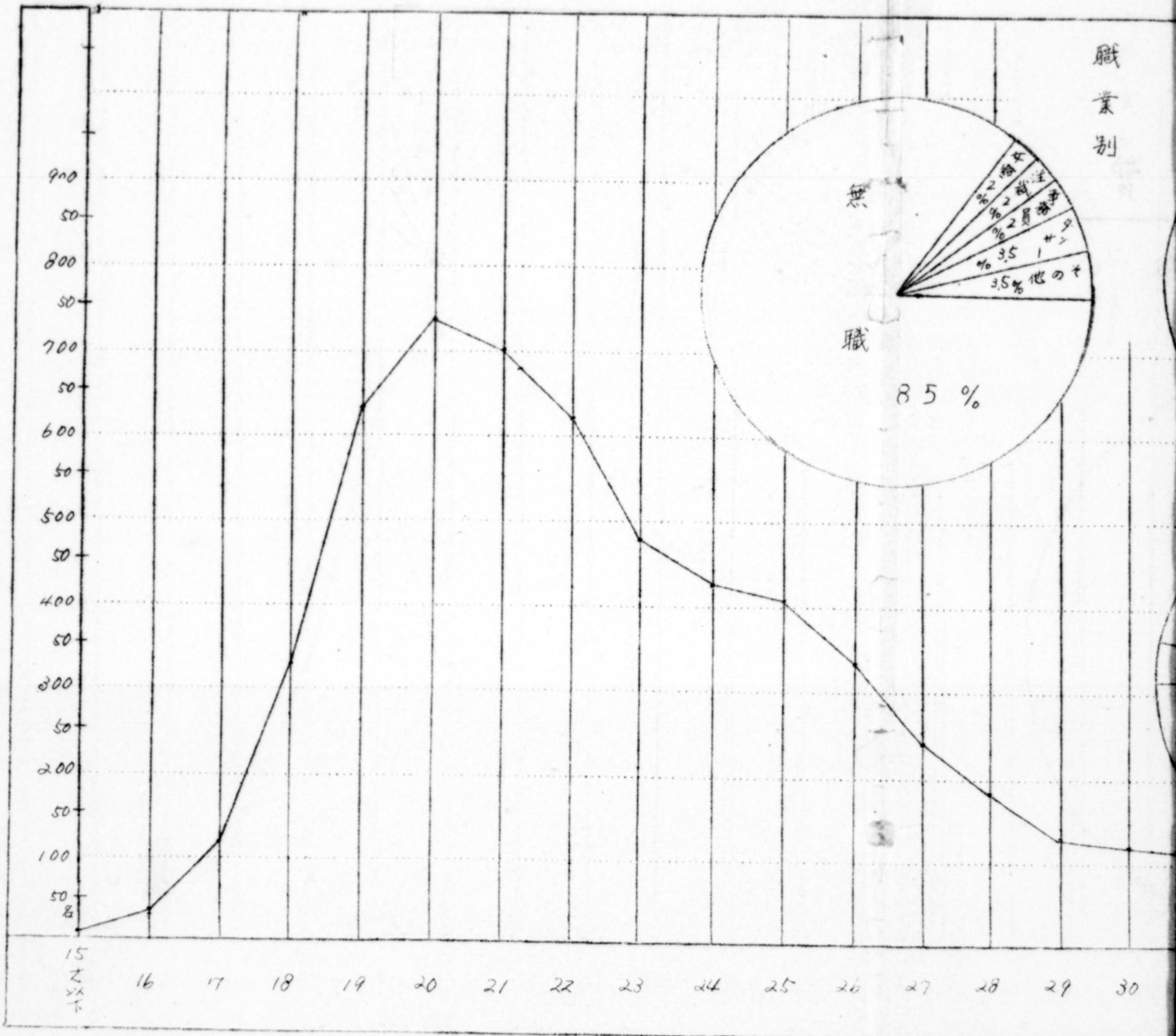




賣淫婦年令別一覽表 (學歷別、動機別、職業別)

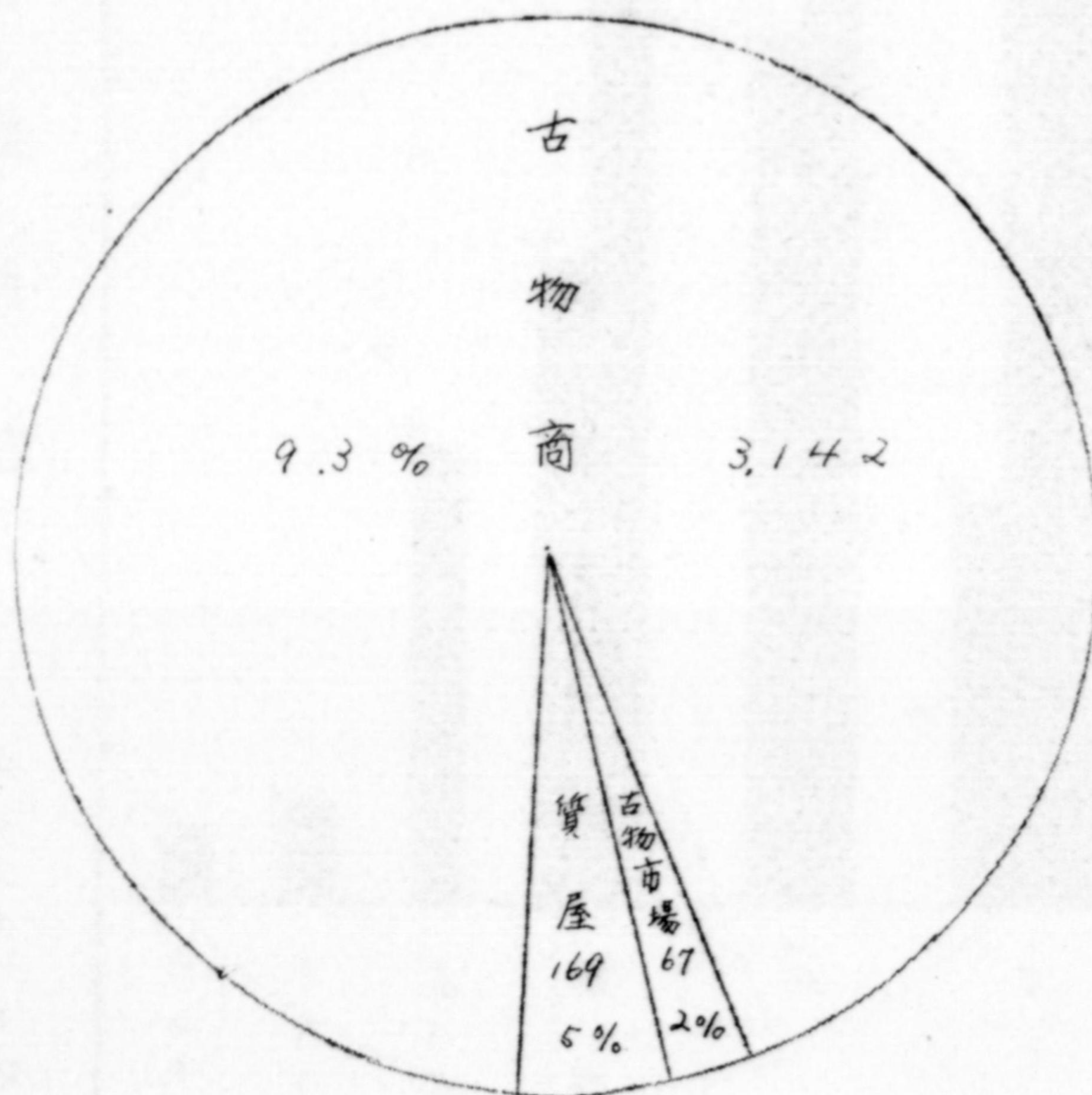


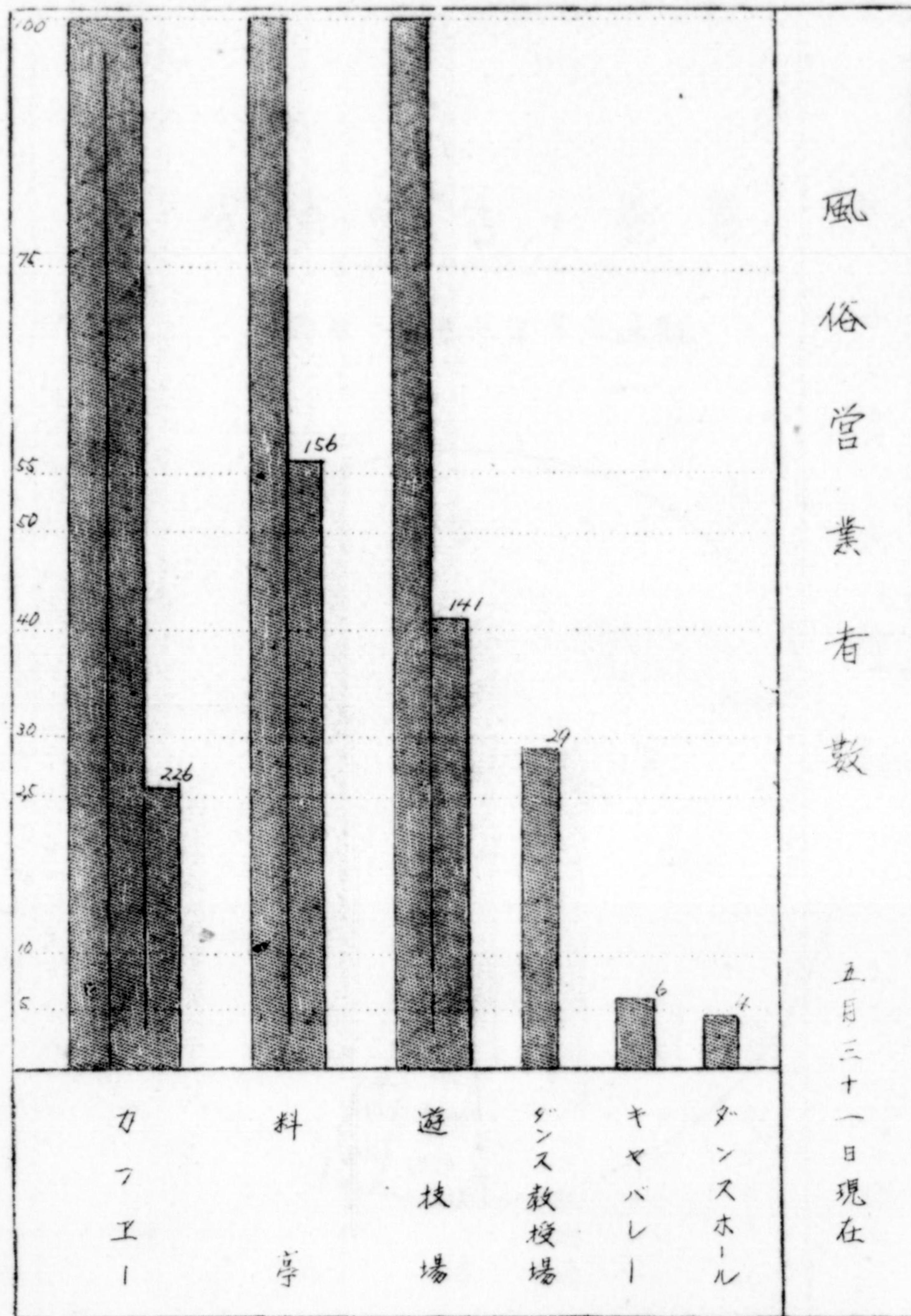
22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 41
1 40 以上



質屋・古物商數

・昭和23年5月31日現在。





昭和二十四年六月二十三日印刷
昭和二十四年六月二十五日發行

編纂者 伊藤清

發行人 橫濱市西區高島町三二九
橫濱市警察局長 務部 牧養謀

印刷所 山本敏行

印刷所 橫濱市西區天神町二五一
睦工業株式會社

August to November 1949

pp 2

Industrial
Commission
Report
Yamaguchi

縣政報告書

(第五回)

昭和二十四年度 (自十一月)

山梨縣

第五回縣政報告書目次

主ながき.....	一
一、生産増強.....	五
(一) 耕種農業.....	五
(二) 蚕糸業.....	七
(三) 畜産.....	三
(四) 土地改良.....	三
(五) 協同農業普及事業.....	三
(六) 商工業.....	四
(七) 水産.....	五
(八) 労働問題.....	六
(九) 貯蓄の増強.....	七
(十) 調整部会答申.....	七
二、食糧問題.....	三
(一) 麦、馬鈴薯の供出状況.....	三
(二) 米、甘藷の供出状況.....	七
(三) 供出リンク物資の入荷配給状況.....	八
(四) 主要食糧の需給状況.....	八
(五) 水産物の配給状況.....	八
(六) 調味品の配給状況.....	九

六、健康山梨の建設

(一)	山梨医学研究所運営状況	一六六
(二)	無医村対策	一六八
(三)	傳染病予防対策	一七〇
(四)	地方病撲滅事業	一七二
(五)	寄生虫予防対策	一七四
(六)	性病予防対策	一七六
(七)	結核対策	一七八
(八)	鼠族昆虫駆除対策	一八〇
(九)	医薬品販売業者の登録状況	一九九
(十)	医薬品配給状況	二〇〇
(十一)	薬用植物栽培指導状況	二〇〇
(十二)	不良医薬品指導取締状況	二〇二
(十三)	麻薬取締状況	二〇二
(十四)	食品衛生	二〇三
(十五)	温泉関係	二〇五
(十六)	狂犬病予防	二〇五
(十七)	理容師関係	二〇六
(十八)	食生活指導	二〇七
(十九)	水道事業	二〇八

七、教育の刷新振興

六三制による建築進捗と戦災学校復旧状況.....三〇九

(一) 新学制の拡充強化.....三二

(二) 体育行事の概況.....三六

(三) 学校給食実施状況.....三八

(四) 八、道義の昂揚と婦人問題.....三一

九、観 光 事 業.....三一

(一) 観光事業の進捗状況.....三一

(二) 観光事業促進に関する諸運動.....三九

(三) 観光団体の活動.....四〇

十、行政機構の改革とその運営.....四一

(一) 機構改革と行政整理.....四二

(二) 職員 の 研 修.....四二

(三) 地方職員共済組合の現況.....四三

(四) 自 治 の 振 興.....四三

(五) 消 防.....四三

十一、歳入について.....四五

ま え が き

昭和二十四年を送るに当り縣民諸君と共に、今年の縣政を回顧することは来るべき新年への発展を誓うためにも極めて意義深いことと思われる。本報告書がそうした意味に活用せられ、廣く縣下の批判に耐えうるならば、やがてそれは縣政躍進の源泉となるべきことを信じ、切にそうなることを期待して已まない次第である。

本報告書も公表以來回を重ねること五回に及んだのであるが、特に本年を省りみるとき年初以來均衡予算の強力実施によつてインフレが収まり、爲替レートの設定に伴なつて國際經濟復歸の途が開かれたことは、戦後經濟の混乱に終止符を打ち、日本が自らの努力によつて再建を固めつゝあることの証左とみることが出来る。

これは文化その他最近の國民生活全般について、卒直に認め得るところで、わが山梨の実情も概ね順調に推移し、凡ゆる点において復興への曙光を見出しつゝあるといえよう。然しこの安定の裏には多くの犠牲が拂われており、明るい展望中にも困難な諸問題を包蔵していることが、また現実の姿であつてみれば、縣民一致不撓の努力のみが安定復興に関する唯一の鍵であることを銘記する必要がある。

本縣の今期における貯蓄推進状況は極めて活潑であり、年度目標額十三億円に対し十月末現在十五億二千九百八十一万八千円に達し既に一一八%の進捗率を示し全国的にも稀な好成績を挙げている。

七月から八月にかけて郡内絹織物業の一斉休機以來生産は増加し業界は好轉したかに見えたが、十一月に入るや消費稅撤廃を見越す

ま え が き

昭和二十四年を送るに当り縣民諸君と共に、今年の縣政を回顧することは来るべき新年への發展を誓うためにも極めて意義深いことと思われる。本報告書がそうした意味に活用せられ、廣く縣下の批判に耐えうるならば、やがてそれは縣政躍進の源泉となるべきことを信じ、切にそうなることを期待して已まない次第である。

本報告書も公表以來回を重ねること五回に及んだのであるが、特に本年を省りみるとき年初以來均衡予算の強力実施によつてインフレが収まり、爲替レートの設定に伴つて國際經濟復歸の途が開かれたことは、戦後經濟の混乱に終止符を打ち、日本が自らの努力によつて再建を固めつゝあることの証左とみることが出来る。

これは文化その他最近の國民生活全般について、卒直に認め得るところで、わが山梨の實情も概ね順調に推移し、凡ゆる点において復興への曙光を見出しつゝあるといえよう。然しこの安定の裏には多くの犠牲が拂われており、明るい展望中にも困難な諸問題を包蔵していることが、また現実の姿であつてみれば、縣民一致不撓の努力のみが安定復興に関する唯一の鍵であることを銘記する必要がある。

本縣の今期における貯蓄推進状況は極めて活潑であり、年度目標額十三億円に対し十月末現在十五億二千九百八十一万八千円に達し既に一一八%の進捗率を示し全国的にも稀な好成績を挙げている。

七月から八月にかけて郡内絹織物業の一斉休機以來生産は増加し業界は好轉したかに見えたが、十一月に入るや消費稅撤廃を見越す

買控えと税金の圧力で機業は繰短休機続出の苦境に追ひ込まれている。この不振の原因は一般経済界不況の反映でもあるが、これを積極的に克服するものは品質の向上と金融の円滑化にあるので、各種方策を総合しての指導斡旋に努めている。

縣下中小企業の金融難を緩和しその振興を図るため縣では「中小企業融資基金制度」を設けこの基金一、〇〇〇万円の中十一月第一回分として三〇〇万円を商工組合中央金庫に支出した。

本制度に併行して「日銀別枠資金」の多量導入が進められており、また信用保証協会の運営は十一月末現在保証承諾累計二、七一二万円に達し金融難の打開に各部面から積極的な努力が続けている。

本縣製材技術の向上を図り、併せて豊富な恩賜林産有用調葉樹を乾燥材として木工業界に供給して木材工業の振興に資するため十月縣議会の協賛を経て甲府市飯田町に縣立木材工業指導所を設置することとなり、近く開所の運びとなつた。

キティ颱風並びに病虫害の被害に基く補正割当は全農民の関心裡に十一月二十五日から五日間に亘る全國知事会議で審議され、幾多波瀾の末、本縣米、雑穀の補正量を七、〇〇〇石に確定された。この決定は本縣の実情に照し洵に切実な結果を齎すものであるが、わが國食糧事情の現況に鑑み大乗的にこれを受け容れて行かねばならない。

本問題に関して終始努力せられた農業調整委員会の活躍は特記すべきで深く感謝を捧げると共に今後の課題たる供出の完遂についても切にその奮斗が期待されている。

八月十八日、九月二十日における市町村及び縣農地委員の選挙は共に全國一斉に行われ、夏季農繁の時期に当るので選挙の低調を憂慮されたが、活潑な啓蒙宣傳の結果予想に反して良好な投票率を示し、市町村農委においては五割九分、縣農委では全部が新人によつて占められるという全國的にも珍らしい結果を齎した。

自作農創設特別措置法に基く買収売渡に関する最終手続である登記事務は、経費をめぐる種々の事情で円滑を欠いていたが、その重要性に鑑み、九月及び十一月縣議会で予算措置が講ぜられ、隘路打開に努めたのでその後急速な展開をみるに至り、関係者の協力と相俟ちその完遂は日時の問題とみられるに至つた。

今年の夏季もデラ、キテイ、パトリシヤと相次ぐ颱風の來襲に一六億余円の被害を蒙つた。連年巨額の災禍に悩む現状よりして、その抜本的対策が希求されるので、治山、造林、伐採の適正化による総合的治山事業の強化に意を注ぐと共に治水の面でも出水期に対処し一億円の借入金をして要緊急箇所工事進捗に努めた外、防除施設、改良、砂防、水防諸工事の鋭意施行によつて被害を最少限度に止め得た。

山中、河口両湖畔における縣營キャンプ村は全期間を通じ、大衆リクリエーション施設としての眞價を發揮多大の成果を収めた外、第四回國民体育大会山岳部門の招致、富士嶺根國立公園の映画宣傳、甲武信國立公園指定促進等觀光山梨の建設も逐次企画の時代から実践の時期に歩を進めている。

八月二十二日吏員雇傭員の定数決定を契期として人材登用、第一線強化、小教精銳主義による事務能率の向上を目途として縣機構の改革と職員配置轉換並びに行政整理を断行した。之に伴う退職者一九二名、配置轉換職員總計三九四名に及ぶ曾てない大巾な異動を行つた。

十一月現在における歳入予算総額は三十三億一千万円で七月公表の当時から、一億七千万円を増加している。その主なるものは地方配付税、國庫支出金、縣債、雜收入等であるが所謂自主的財源は歳入予算の僅か一六%にすぎず、その八四%は國庫支出金に依存している現状である。

昭和二十年十月縣軍政部が設置され初代隊長ブレイワー大佐を迎えてから四年、八代の隊長を送り迎えて縣政の運営に多大の指導と援助を戴いた縣民事部も十一月三十日を以て廃止され、一應歴史的終止符をつけることとなり、十二月からは新たに発足する関東地方民事本部の管轄に編入されることになった。終戦後焦燥と困迷に喘ぐ縣民をしてよく今日の復興にまで導かれた歴代隊長の同情ある御援助に対しては八〇万縣民の深く感激するところである。吾々縣民は今後一層責務の大なるを自覚し、拳縣地方自治の伸張に努めることが歴代山梨軍政部長及び部員各位の御好意に報いる途であらう。

一、生産増強

(一) 耕種農業

1、農業五カ年計画推進町村の推進（農業五カ年計画の一）

さきに東山梨郡八幡村外二十三カ町村を農業五カ年計画推進町村に指定すると共に、これが指導、援助を図るため、推進機関として「山梨縣農業五カ年計画推進委員会」を設置したが、さる九月当該町村長、及び地方事務所長の会議を開き、廣く耕種農業、畜産、蚕糸、林業、水産を含めて各町村の実狀に應じた計画を本年十二月末までに完了することとした。

2、農業經營の改善

(イ) 常習旱魃地帯の營農改善（農業五カ年計画の一）

本縣の耕地は水稻及び畑作物の旱害の頻度が高く、しかしてこれら畑地は從來桑園、果樹園が大部分を占めていたが、戰時中及び終戰直後における深刻な食糧危機により主食への無理な作付轉換が行われ、食糧供出制度の重圧により農業經營をして著しく困難ならしめている現状である。よつてこれら常習旱魃地帯の食糧作物の作付轉換並びに農家經濟の安定策を樹立するため、縣に「常習旱魃地帯、營農改善研究会」を設置し、先ず当面せる麦作常習旱害地を第一次研究の対象として、その代表的な原七郷其他これに類似する地帯一、〇五三町に対し、氣温、降水量、地下水位、土質、土性、旱害の頻度並びに食糧自給度等に関する科学的な調査研究を行つた結果、その結論を得たので取り敢えず本年度において五〇〇町歩の轉換を実施することとした。その内訳は東山梨郡四一町歩、西山梨郡一〇町歩、東八代郡四七町歩、西八代郡二九町歩、南

巨摩郡三〇町歩、中巨摩郡一九四町歩、北巨摩郡五八町歩、南都留郡四三町歩、北都留郡四〇町歩、甲府八町歩である。

六

(ロ) 土地利用区分図の作製

総司令部天然資源局は日本の国土開発高度利用の見地から日本全土に亘つての土地利用区分図を作製することになり、本縣に対しては九月九日これが区分図（五万分の一）を早急に作製して提出するよう要求があつたので、関係各課、地方事務所は勿論全町村の協力を得て作成した。

本図は土地を耕地とその他の土地に大区分し、耕地を水田、畑及び樹園地にその他の土地を林地、草原、荒地、放牧地、採草地及び塩田に中区分し、水田は三毛作地、二毛作地、單作地、畑は三毛作地、二毛作地、二年三毛作地、單作地及び焼畑に、樹園地は桑園、果樹園、茶園、コロゾ、ミツマタ園等に夫れ／＼区分しこれを五万分の一の地図上に所定の採色をしたものである。更に林相図等をも入れて印刷し関係方面に配付する予定である。

3、主要食糧の増産

(イ) 食糧増産運動実施の概況（農業五カ年計画の一）

各農家毎に昭和二十四年産米、麦類、いも類及び雜穀について事前割当数量を確保し更に一層の増産を図ることを目途として町村会、農業協同組合、農業調整委員会、農業改良委員会等の各団体の積極的協力を得て本年度の食糧増産運動を展開したが、その概況は次の如くである。

(1) 運動推進の組織

縣	區分	名	稱	組	織	員	任	務	分	擔
		食糧増産推進班		農務課、農業改良課、農事試験場、縣教育 利用連、共済保險組合關係職員			運動推進に関する企画、連絡月例會議、郡市 指導			

② 実施事項の概要

月別	五月	六月	七月	八月
町村	普及班 運動推進、地区別指導研討會、町村別擔任指導	普及班の編成、運動實施要領策定、部落懇談會趣旨徹底	普及班の編成、運動實施要領策定、部落懇談會趣旨徹底	普及班の編成、運動實施要領策定、部落懇談會趣旨徹底
郡	相談班 二十三日南巨摩郡を始めとして各都市相談班の編成運動實施要領策定	前月に引き続き、相談班の編成實施要領策定、部落懇談會の巡回開催、移動防除班の出動	開例研討會の開催、地区別町村懇談會の開催、部落懇談會の開催、玉蜀黍の肥の設備整備	月例研討會開催、地区別部落懇談會開催、月例防除班の出動、街頭防除班の出動、移動防除班の出動、部落懇談會開催、部落懇談會開催、部落懇談會開催
縣	推進班 運動要領、實施計畫策定、地方事務所長會議、縣及都市關係者協議會、各都市町村懇談會指導	廣告塔の設置、新聞ラジオ、街頭放送を利用、大衆への広報、推進班の随時擔任區域に出張指導	推進班連絡打合せ、郡相談班連絡、月例防除班の出動、街頭防除班の出動、移動防除班の出動、部落懇談會開催、部落懇談會開催、部落懇談會開催	移動防除班の出動、街頭防除班の出動、移動防除班の出動、部落懇談會開催、部落懇談會開催、部落懇談會開催

(3) 運動の成果

類	麥			米 (水陸 稻合計)			種別	區分	作付面積	反當收量	收穫高	備考	
	前年実績	前年割當	本年実績	前年実績	前年割當	本年実績							
實績の増減	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)		七九三、〇	(-)	二〇	(-)	五、五七七、〇	災害を被つた
前年実績との増減	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)		七六六、九	(-)	一九八	(-)	四〇、六六四、〇	作報推定實收高
本年実績	二二、五〇七、〇	二〇、五三三、一	二二、三〇〇、〇	二七六、四六五、〇	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	石	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	作報推定實收高	作報推定實收高
前年割當	二一、五〇七、〇	二〇、五三三、一	二二、三〇〇、〇	二七六、四六五、〇	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	石	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	二八二、〇四二、〇	二七六、四六五、〇	作報推定實收高	作報推定實收高
前年実績	一七、四五五、〇	一七、二〇七、五	一八、四五〇、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	石	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	作報推定實收高	作報推定實收高
前年割當	一七、二〇七、五	一八、四五〇、〇	一七、四五〇、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	石	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	作報推定實收高	作報推定實收高
本年実績	二、四四二、五	二、四六五	二、四六五	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	石	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	作報推定實收高	作報推定實收高
本年割當	二、四四二、五	二、四六五	二、四六五	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	石	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	四三三、一九八、〇	四二八、三二四、〇	作報推定實收高	作報推定實收高

十一月	十月	九月
<p>麥の晩播対策及初冬管理、米作日本一表彰大會出品、田第二次坪刈(全刈)審査</p>	<p>麥の増産指導の弘報、石灰使用、朝日新聞社主催米作日本一表彰大會出品、田第一次審査</p>	<p>郡相設班運路月例会、スタタ全農家に配布、増産時報、スピカー山梨等による宣傳</p>
<p>月例研討會の開催、地指採種の宣傳、麥の晩播対策及初冬管理</p>	<p>月例研討會の開催、施肥改善部、麥の作付積の刈取</p>	<p>月例研討會の開催、麥採種圃の設置計画、指導、種子消毒の實地指導</p>
<p>部落懇談會、麥の晩播対策、甘藷の貯蔵要領、米の脱穀調整、麥の初冬管理</p>	<p>部落懇談會、麥の適期播種、稻刈の適期、稲製指導</p>	<p>部落懇談會、白穂拔取一斉日、麥作増産指導、適品種子消毒、石灰の使用、肥改善、稲首熱の防除</p>

(ロ)

昭和二十五年産麦類の農業計画の決定

昭和二十五年産麦類(冬雑穀を含む)の農業計画を左の要領によつてこれを定め、

1) 生産数量、生産者保有数量及び供出数量 (九月二十二日縣農業調整委員会議決) 実施に這入つた。

農業計画による指示は生産者保有数量及び供出数量についてのみこれを行い面積等は指示しないが、算出の基礎は明瞭にした。

穀	雑			薯			鈴			馬			諸			甘				
	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年	前年		
	実績	割當	実績	実績	割當	実績	実績	割當	実績	割當	実績	実績	割當	実績	割當	実績	割當	実績		
	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	
	七、四〇二、七	七、五八八、〇	六、九二三、九	四〇四、〇	三二八、〇	四〇四、〇	二、三六四、〇	二、二八八、〇	一、九六〇、〇	三、三六四、〇	三、七五五、〇	三、六五七、〇	三、三九〇、〇	二、六七七、〇	三、六五七、〇	三、七五五、〇	三、六五七、〇	三、三九〇、〇	二、六七七、〇	
	石	石	石	石	石	石	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	
	五五二	七三六	五一八	二六	四七	二六	二三九	二六〇	二二三	二二九	三四一	三二七	三五四	二二七	三四一	三二七	三五四	二二七	三五四	
	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	
	四〇、八六六、三	五五、六九〇、〇	三五、八五四、八	一、四七四、九六〇	一、七八二、〇二五	一、四七四、九六〇	五、六四九、九六〇	五、九五七、〇二五	四、一七五、〇〇〇	五、六四九、九六〇	一一、八〇四、五五〇	一一、九四八、〇五〇	一一、〇〇一、〇〇〇	五二、九五〇	一一、八〇四、五五〇	一一、九四八、〇五〇	一一、〇〇一、〇〇〇	五二、九五〇	八〇三、五五〇	
	食糧事務所推定實收高 (玄米石換算)	作報推定實收高 七、八月の早魃と九月一日の キティ台風による玉蜀黍、大 豆の倒伏による災害大	作報推定實收高 七、八月の早魃と九月一日の キティ台風による玉蜀黍、大 豆の倒伏による災害大	作報推定實收高 植付直後の寒冷により初期生 育悪く四月五月の早魃蓄積期 以後の多雨により氣象條件が 悪かつた	作報推定實收高 植付直後の寒冷により初期生 育悪く四月五月の早魃蓄積期 以後の多雨により氣象條件が 悪かつた	作報推定實收高 植付直後の寒冷により初期生 育悪く四月五月の早魃蓄積期 以後の多雨により氣象條件が 悪かつた	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高	作報推定實收高 作報推定實收高

(2) 農業計画の対象

農業計画中生産数量の指示は各生産者にこれを行うものとし供出数量の指示は一部保有農家には行わない。

(3) 農業計画の公表期限

市町村長は農業計画の公表を必ず昭和二十四年十月二十日迄に行うものとした。

(4) 肥料、農薬、農機具の配給

(A) 肥料については七月一日事前割当の決定を俟たず一應割当を完了し、農業計画の決定を俟つて調整割当を行った。

(B) 農薬及び農機具の配給については農業資材配給規則の対象となつてゐるものは、市町村の調査に係る需要量に基づき四半期毎に配給計画を定め計画配給を実施するものとして右以前の品目には配給は原則として自由である。

(5) 供出期限及び代替供出

食糧管理法施行規則第三條の供出期限は左の通りとする。

昭和二十五年八月末日

供出数量において麦類とこの農業計画でいう冬作雑穀との代替供出は無制限にする。

6) 麦類単作地帯保有期間延長補填調整量使用につき左の措置を講ずることとし、この地帯の農家の食生活の改善を図ることとした。

(A) 地方事務所はこれに該当する農家を対象として縣から割当られた補填数量を町村長に割当てる。

(B) 市町村長は割当を受けた数量により該当する農家を調査し各個人に割当するものとする。

(C) この補填用は一農家に対し四十日を超えてはならない。

(D) 市町村長は昭和二十五年産麦類管理台帳を作成のとき、その数量を記載し、その農家に対し主要食糧の配給延長を予め通知し爾後の配給の円滑を期する。

(E) 地方事務所は各町村に対し、月別農家用配給割当数量から、この数量を差引き該当月の農家用配給数量の割当をする。

(F) この補填用数量に対し割当の適正を欠いたときは農家用配給の追加は行わない。

昭和二十五年産麦類生産保有供出割当数量表

種別	生産数量	保有数量	供出数量
麦類	二五〇、九〇〇 ^{米石}	一四八、三〇〇 ^{米石}	一〇二、六〇〇 ^{米石}

4 園藝及び特用作物

(イ) 高冷地甘藍の出荷（農業五カ年計画の一）

富士山麓、八ヶ岳及び茅ヶ岳等の高冷地帯に春蒔甘藍を栽培し、八、九月の葉菜類の端境期をねらつて東京横浜地方に出荷することはこれ等地域の農業経営に最も有利な事業であることに着目し、左記町村を大臣及び知事の指定産地として春蒔甘藍の作付出荷について昨年来指導を行つて来たが、蔬菜類統制撤廃による思惑、定植期の早賦等の事由により計画通りの面積は確保されなかつたが、生育状況は概ね良好にして十月末日迄に次の出荷量を見た。

町村名	區分	計画面積	實績面積	出荷數量	備考
大泉村		二五	一五	八五八	出荷先は東京、横浜、甲府等である。
小泉村		三〇	一二	二、一四八	
清里村		三〇	一〇	一、九八〇	
小淵澤村		二〇	一〇	四	
安都玉村		三〇	八	三	
安都那村		一〇	五	一	
富士上吉田町		六〇	四〇	二、〇六五	
計		二〇五	一〇〇	一三、八五二	

單位(面積反、數量貫)

一一

(ロ) 百合根の栽培奨励と輸出(農業五カ年計画の一)

輸出農作物の一つとして百合根の栽培を奨励するため、栽培講習会を開催する等栽培技術の普及浸透を図っているが、本年産百合根の作付面積は一町五反三畝であり、生産球は専ら繁殖用に用いられ、輸出としては中牧村より七五四球(主として黒軸鉄砲)が戦後本縣産百合根の初輸出として横浜植木株式会社を通じて出荷された。

なお本秋作付られたものは木子作り、本作りを合せて六町五反五畝生産見込一、二三六、〇〇〇球である。

(ハ) 除虫菊乾花の初出荷と種子の購入斡旋(農業五カ年計画の一)

除虫菊は昭和二十二年以來その栽培を奨励してきているが、本年も農林省の専門技官を招聘して栽培講習会を開催する等栽培技術の普及浸透に努めた。

本縣としては本年最初の乾花の生産を見、山梨縣販売農業協同組合連合会を通じて九六貫余の初出荷を行った。

なおこれが種子の購入斡旋を行い、九月中旬二斗五升の種子の斡旋を行った。

(ニ) ホップ(乾花)の生産(農業五カ年計画の一)

ホップの増殖奨励の実績は前号報告の通りであるが、本年度の生産数量は一六、五〇〇疋である。

(ホ) 蔬菜用雜穀種子の生産計画

昭和二十五年産蔬菜用雜穀種子政府買入限度見込数量は豌豆、蚕豆、菜豆、枝豆、玉蜀黍を合せて一、三四〇依の割当であるが、これに基づき数量の関係から蚕豆を豌豆に振り替え、豌豆五〇依の登録生産業者別、町村別、生産計画を樹立した。

なお登録生産業者は九月推薦会を開催し、山梨農林種苗株式会社、山梨縣販売農業協同組合連合会及び田草川市南商店の三名を決定した。

(ヘ) 來年産菜種の供出期待数量の割当と本年産菜種の供出成績

昭和二十五年産菜種の生産計画については農林省より供出期待目標として、作付面積二〇二町歩、供出目標反当九斗四升七合、合計一、九一三石の割当があつたが、右割当は反当収量が不当に高いので農林省と再三の減額折衝を重ねた結果、反收を八斗三升五合に減じ供出期待目標一、六八六石とすることに決着し郡市別に生産割当を行った。

昭和二十四年産菜種の供出については農林省割当八〇〇石の供出数量を九月末日を目標に供出完了を期し督促したが、十一月十日現在の供出成績は六六二石で八三%である。

(ト) 大麻の出荷割当

指定農林物資(纖維作物)集荷割当規則に基き、本年度本縣大麻作付面積二〇町六反余收穫見込三、〇九五貫に対して生産者保有数量一、九四六貫を除き一、一九六貫の郡市別出荷割当を実施した。

5 肥料

(イ) 秋肥の配給

昭和二十四年秋肥については既に配給割当したのであるが、本年度農業計画の決定に伴なつて之が調整割当を行ない、更に若干の作物について追加割当を決定した

秋肥としての総配給数量と、これを前年同期に比較すると次の通りである。

なお今期配給割当数量は肥料配給統制実施以來最高の数量である。

肥料名	(A) 本年秋肥配給割当量	(B) 前年同期	A/B 比較	備考
窒素質肥料(硫酸換算)	一〇、〇三六噸	六、二三九噸	一六一	十一月三十日現在割当量
磷酸質肥料(二六%過磷酸換算)	七、三〇五	五、六八八	一二八	
加里質肥料(四〇%加里塩換算)	一、三六八	二四六	五五六	

更に本年秋肥における主要作物の反当配給基準を前年同期の配給基準に比較すると次の通りである。

これが入荷配給については肥料配給公團その他関係方面と緊密なる連絡をとり、順調に進み十一月十日現在の状況は次の通りである。

桑	桑	開拓地		菜	果	菜			蔬	豆	麥	作物名	窒素質肥料		磷酸質肥料		加里質肥料		備考
		新墾地 地力培養	既墾地 増量			種	樹	種					一般地	知事指定	大臣指定	本年	前年	本年	
一〇、〇	一〇、一			六、〇	六、六	五、四	三、七	九、三	一〇、〇	一、〇	六、九	本年	前年	本年	前年	本年	前年	その他作物についても前年同期に比して夫々配給基準は増加している。	
六、〇	三、〇			二、〇	三、〇	五、四	二、三	八、〇	八、〇		五、三	本年	前年	本年	前年	本年	前年		
三、〇	三、一	三、〇	二、〇	四、〇	四、〇	三、〇	一、八	五、八	五、〇	三、〇	六、八	本年	前年	本年	前年	本年	前年		
一、五	一、三			一、八	一、〇	二、四		七、〇	九、〇	二、〇	四、八	本年	前年	本年	前年	本年	前年		
一、〇	一、〇			一、〇	一、〇	一、〇				〇、五	一、二	本年	前年	本年	前年	本年	前年		
						〇、八五						本年	前年	本年	前年	本年	前年		
												本年	前年	本年	前年	本年	前年		
												本年	前年	本年	前年	本年	前年		